

第2次流山市子どもの読書活動推進計画策定のための調査票

集計結果まとめ（3 / 18）

1 調査の趣旨

「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」の策定にあたり、現時点での流山市内における保育所、幼稚園や学校等での子どもの読書活動推進状況を把握するために実施。

2 調査期間

令和2年10月23日（金）～12月1日（火）

3 調査対象

- ・流山市内の全認可保育所（園）、幼稚園、認定子ども園、児童センター、学童クラブ、障害児支援施設
- ・流山市内の全小中学校、高等学校、特別支援学校

4 調査方法

調査票を対象施設に配布し、主にFAXにて回収。

5 調査票の回答率（回答数／送付施設数）

※パーセンテージは小数点3桁以下繰上げ

（1）子育て関連施設

施設名	保育園 ※1	幼稚園	学童	児童セ ンター	障害児 支援	合計
施設数	77	10	35	7	30	159
回答数	69	10	28 ※2	7	20	134
回答率 （%）	90	100	89	100	67	84

※1 認定こども園を3施設含む。

※2 31施設の内、6施設が2施設ずつ合同で回答を行った。

(2) 学校

施設名	小学校	中学校	高等学校	特別支援 学校	総計
施設数	17	9	4	2	32
回答数	17	9	4	2	32
回答率 (%)	100	100	100	100	100

6 保育園・幼稚園・学童クラブ・児童センター・障害児通所支援施設
における子どもの読書活動状況調査結果

※記入のないものは未回答として計上した。

※いずれも平均数値は回答施設数を分母として計算している。

※パーセンテージは小数点3桁以下繰上げ。

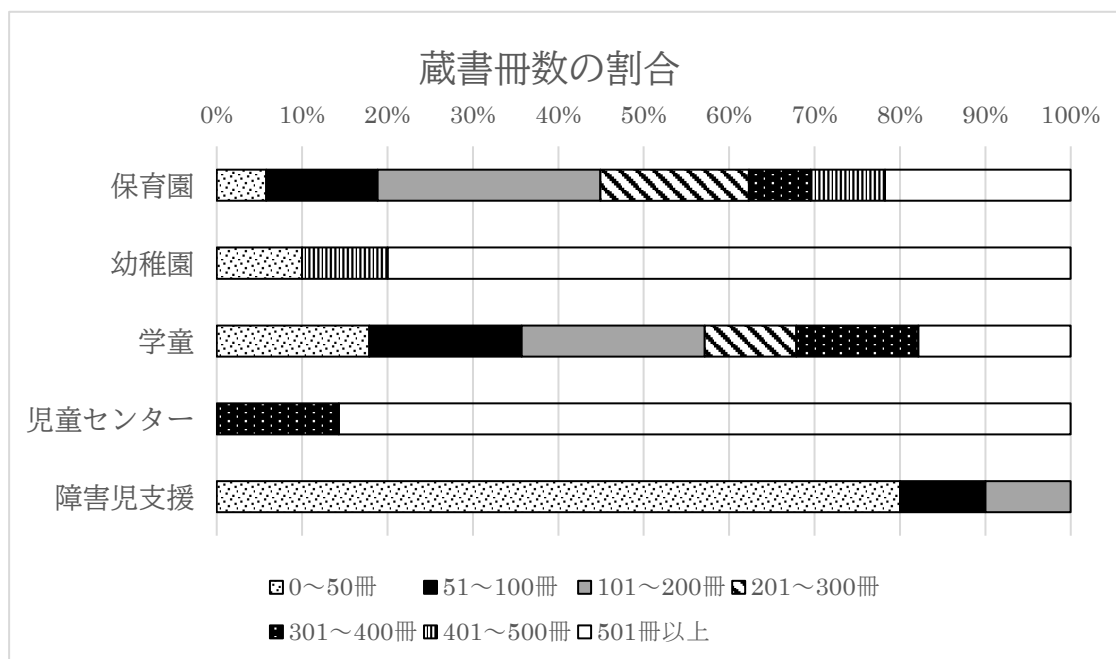
※特に単位の指定のないものについては、全て施設数とする。

質問1 児童書はどのくらいありますか

(1) 子育て関連施設の蔵書冊数

	保育園	幼稚園	学童	児童センター	障害児支援	合計
0～50冊	4	1	5	0	16	26
51～100冊	9	0	5	0	2	16
101～200冊	18	0	6	0	2	26
201～300冊	12	0	3	0	0	15
301～400冊	5	0	4	1	0	10
401～500冊	6	1	0	0	0	7
501冊以上	15	8	5	6	0	34
計	69	10	28	7	20	134

※未回答の施設はなし



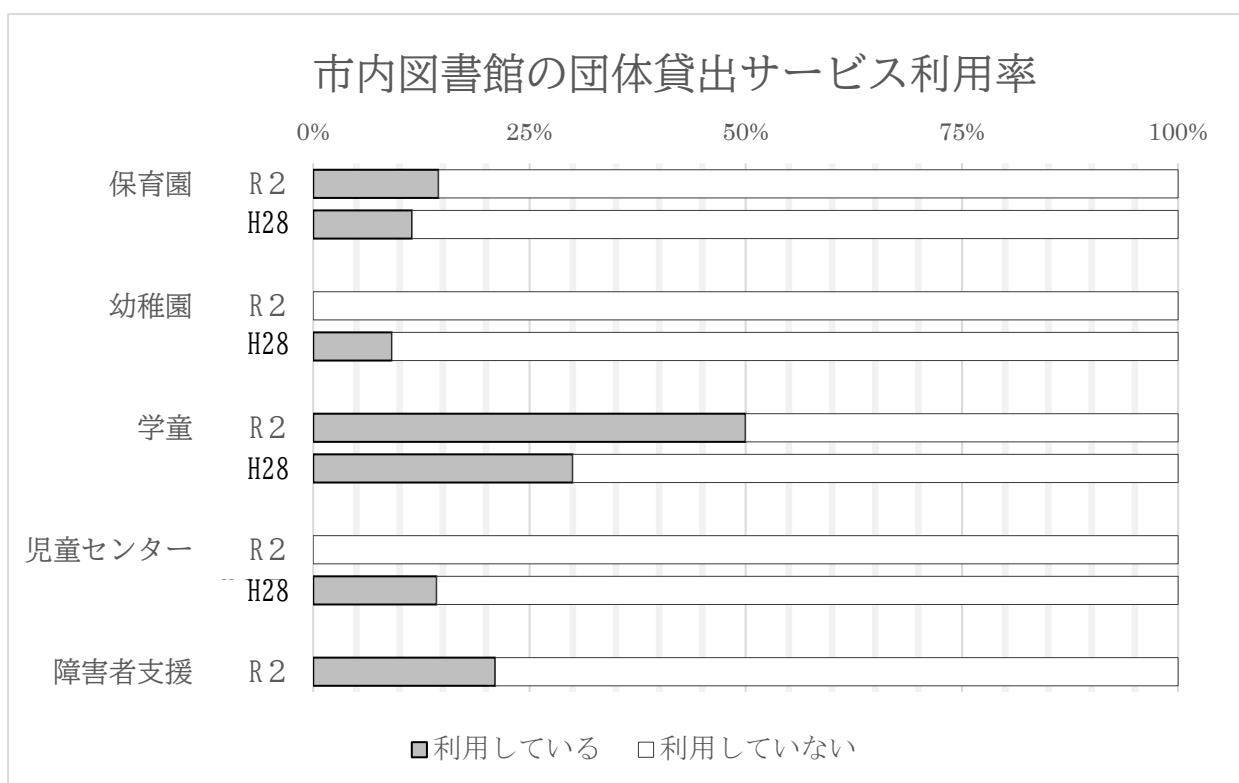
< 各施設の所蔵冊数の合計値・平均値・最低値・最高値 >

		総数 (冊)	1施設当 たり平均 (冊)	最低数 (冊)	最高数 (冊)
保育園	R2	26,135	379	50	1,500
	H28		257	15	1,000
幼稚園	R2	14,829	1,483	30	4,000
	H28		1,217	100	3,000
学童	R2	7,685	274	30	1,000
	H28		301	40	800
児童センター	R2	7,760	1,109	360	2,000
	H28		1,014	350	1,600
障害児支援	R2	1,020	51	10	200
	H28				

※小数点第1位繰り上げ

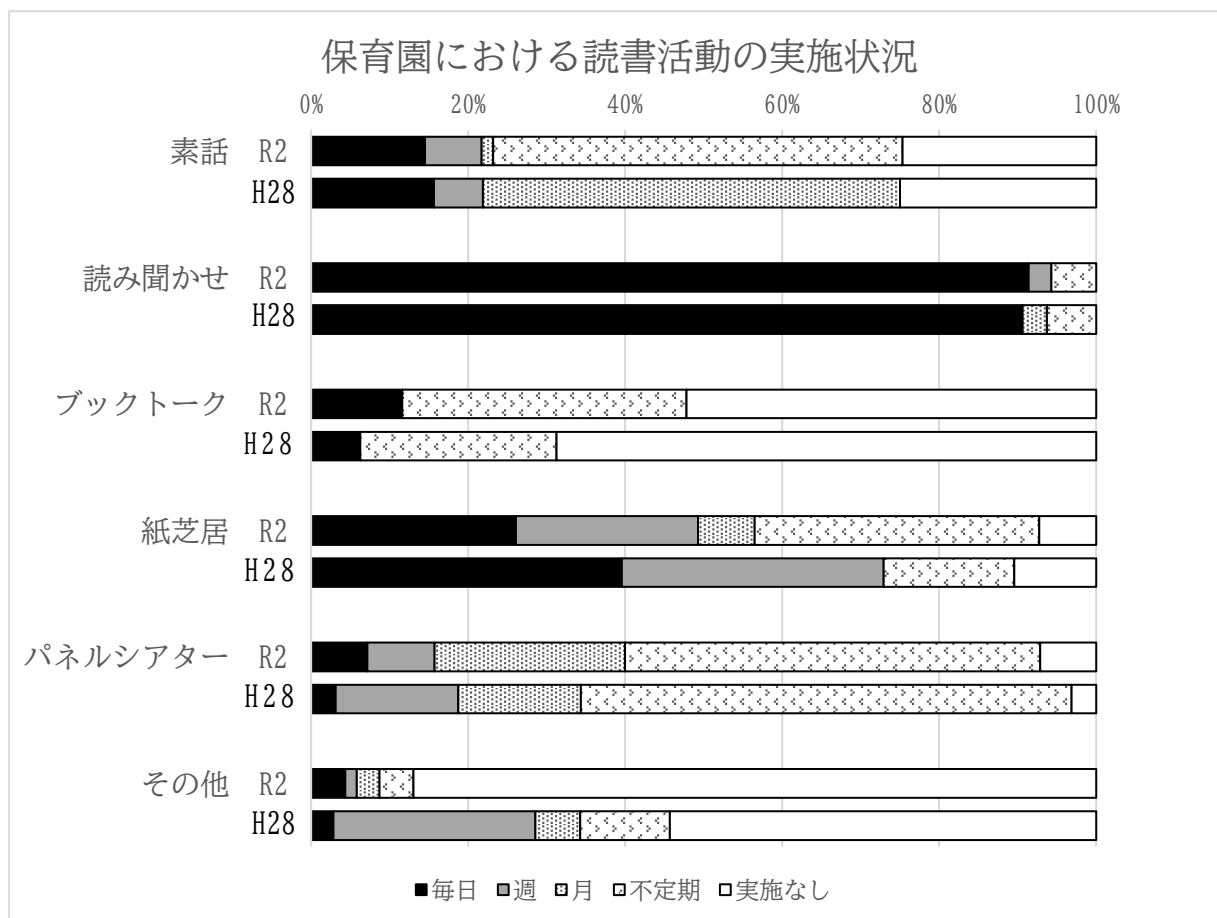
以上の結果より、図書資料の多い施設と少ない施設の格差は依然として大きい。また今回初めて調査した障害児支援施設では、50冊以下の蔵書となるところが最も多いことが明らかになった。

(2) 市立図書館の団体貸出サービス利用率



団体貸出の利用率は、学童クラブについては半数以上の利用が確認できた。また平成28年度調査と比較して、保育園での利用率が上昇した。しかし他の施設では2割以下の利用率となったため、利用方法の周知や利便性向上等に努める必要がある。

(3) 各施設の読書活動状況



○その他の活動…ペープサート（2施設）

本の貸出（1施設）

人形劇・テーブル劇（1施設）

歌あそび絵本（1施設）

大きな絵本（1施設）

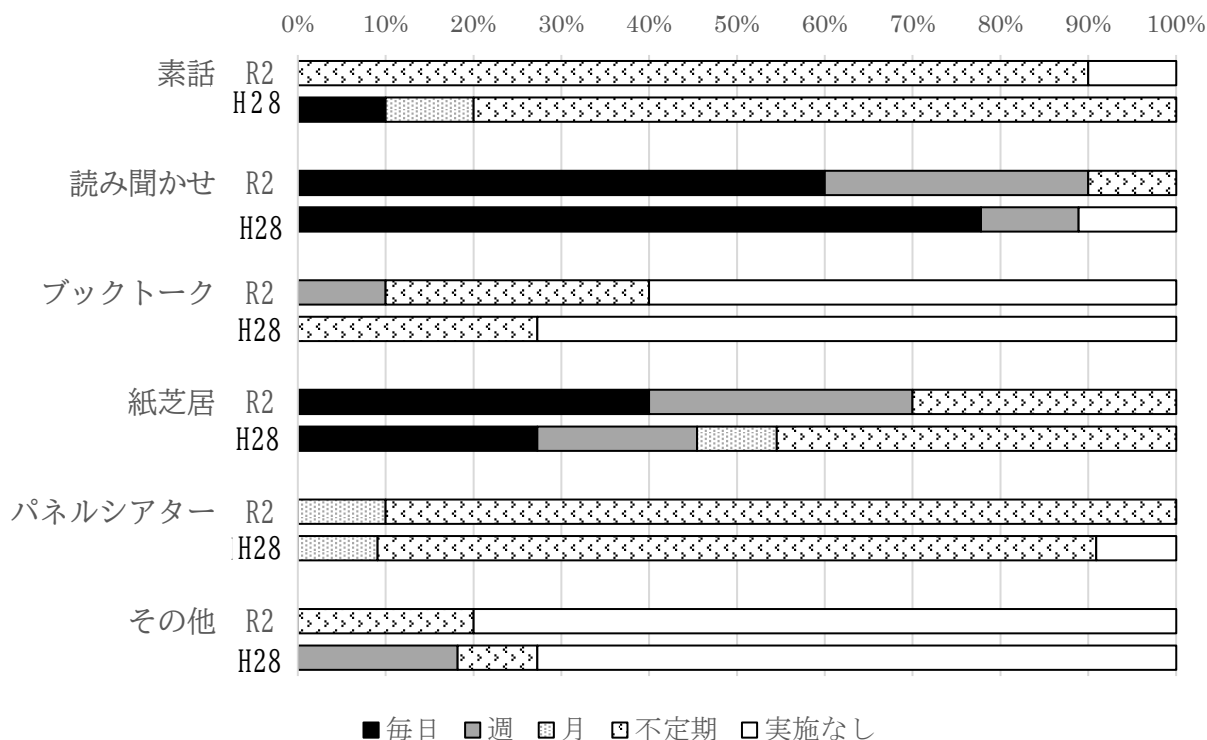
マジックシアター・カードシアター等（1施設）エプ

ロンシアター（1施設）

手袋シアター（1施設）

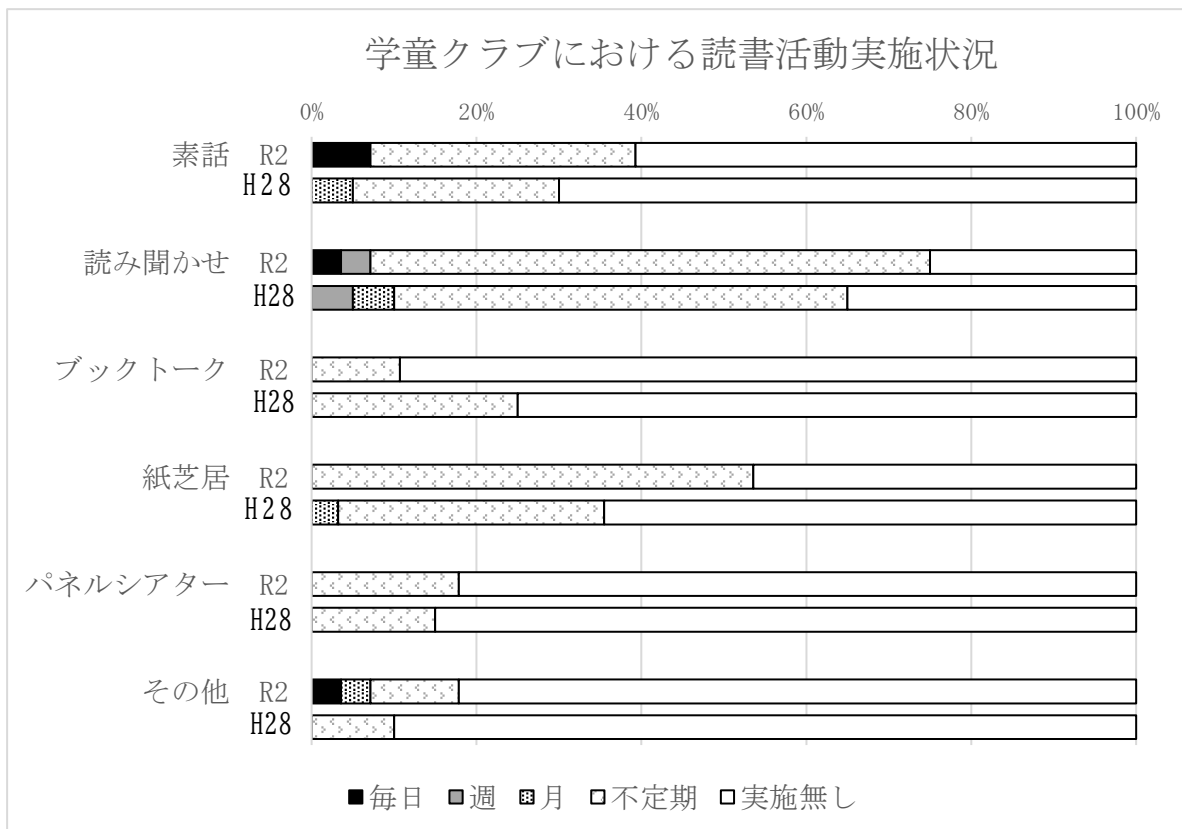
読み聞かせと素話の実施率は平成28年度とほぼ同一であるが、ブックトークの実施率が前回調査よりも増加し、半数近くの割合にのびた。その他の活動の割合が前回調査から下がったが、ブックトーク等の活動に代替された可能性も考えられる。以上のことから、保育園の読書活動は増加傾向にあると言える。

幼稚園における読書活動の実施状況



○その他の活動…ペープサート（2施設のうち2施設）
劇（2施設のうち1施設）

読み聞かせ、ブックトーク、紙芝居、パネルシアターの実施率は増加傾向である。特に読み聞かせは令和2年度調査で実施率が100%になったことから、幼稚園においても読書活動への関心の高さを伺うことができた。



○その他の活動…本読みの時間（1施設）

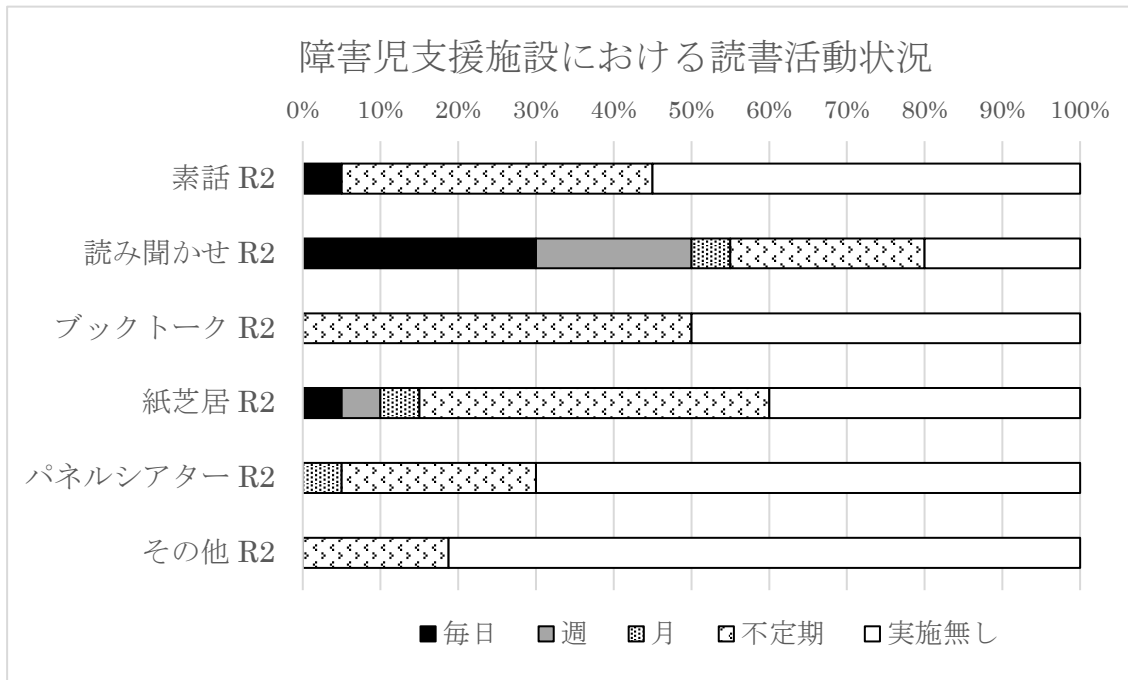
新刊の紹介（1施設）

月1回季節に合った本の紹介（1施設）

年1回課題図書を購入（1施設）

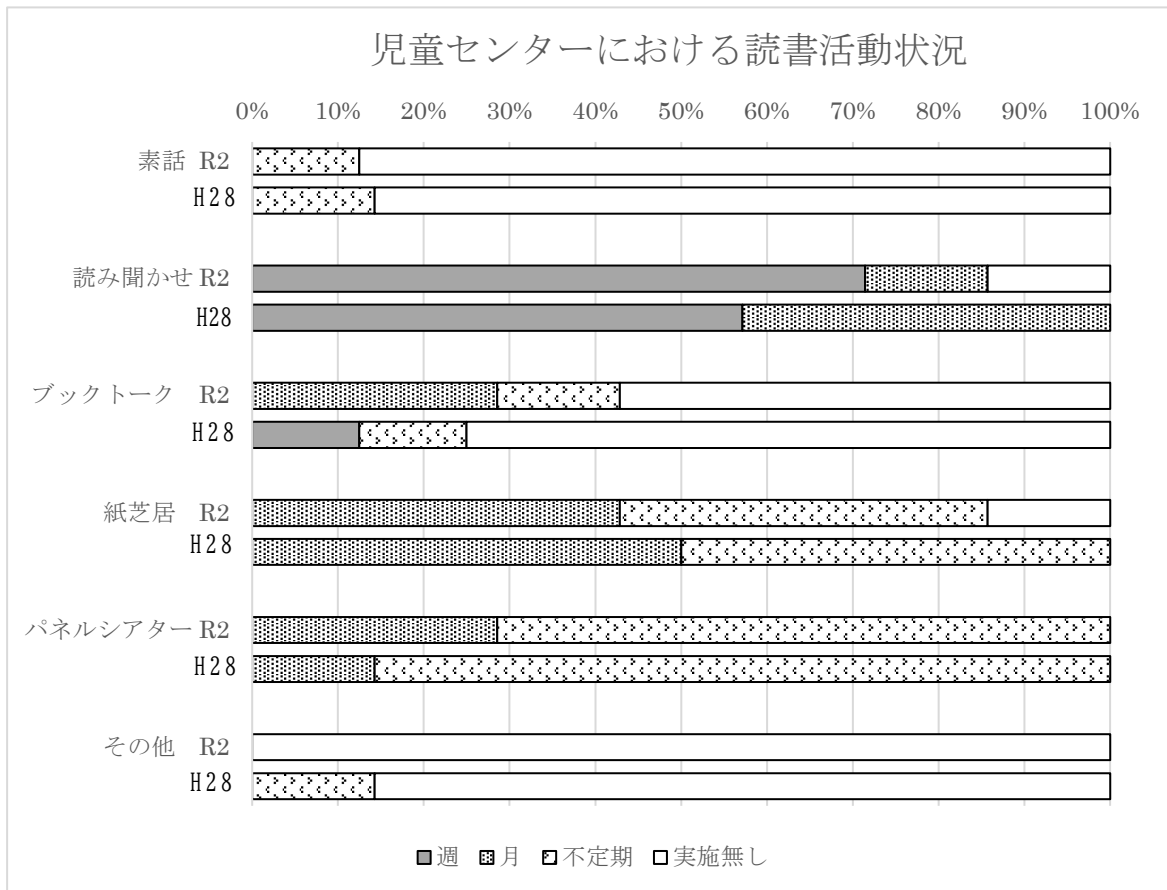
NPO法人ながれやま葉による活動（1施設）

素話、読み聞かせ、紙芝居、パネルシアターでの読書活動が前回調査と比較して増加した。しかしながら幼稚園や保育園の今年度調査結果と比べると全体的な読書活動の実施率は低い。



○その他の活動…ペープサート（2施設）
療育（1施設）

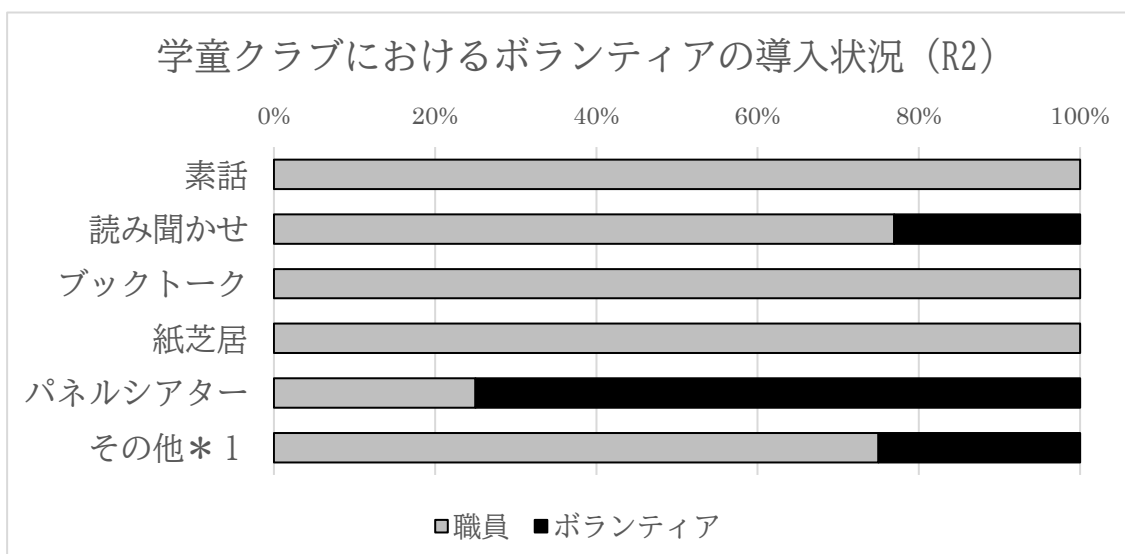
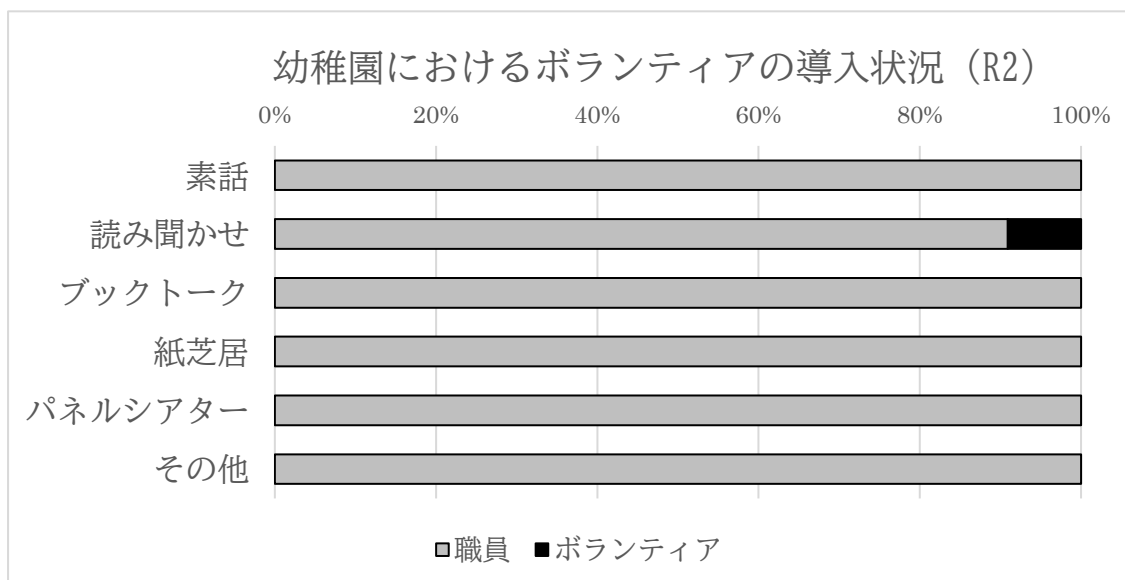
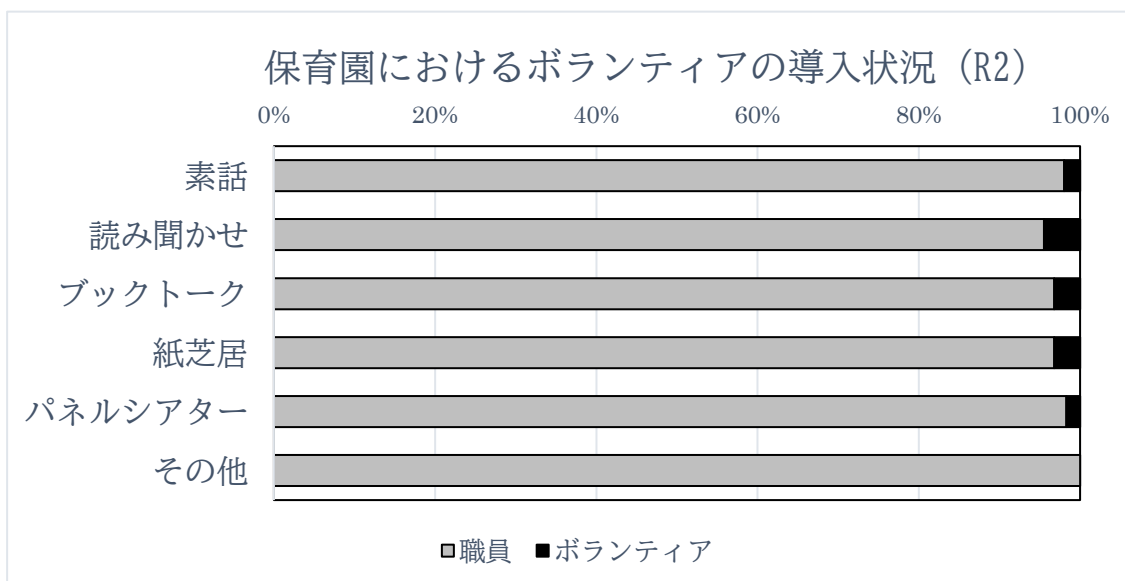
今回が初調査となったが、学童クラブと似た傾向の読書活動を行っていることが明らかになった。蔵書冊数が少ないと回答した施設が多い中、読み聞かせや紙芝居の実施率は50%以上であったことから、読書活動への意識は高いと言える。

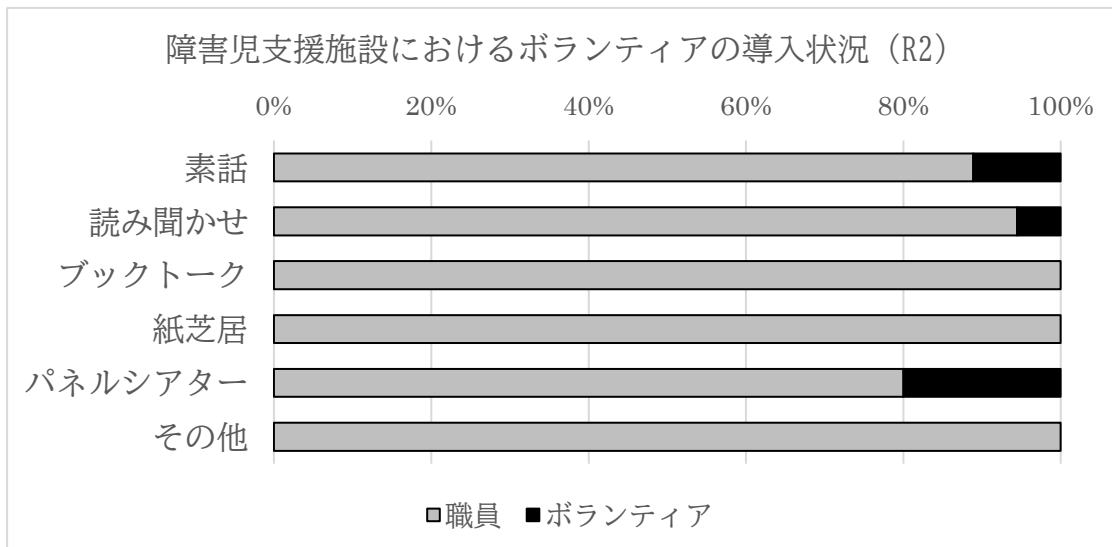
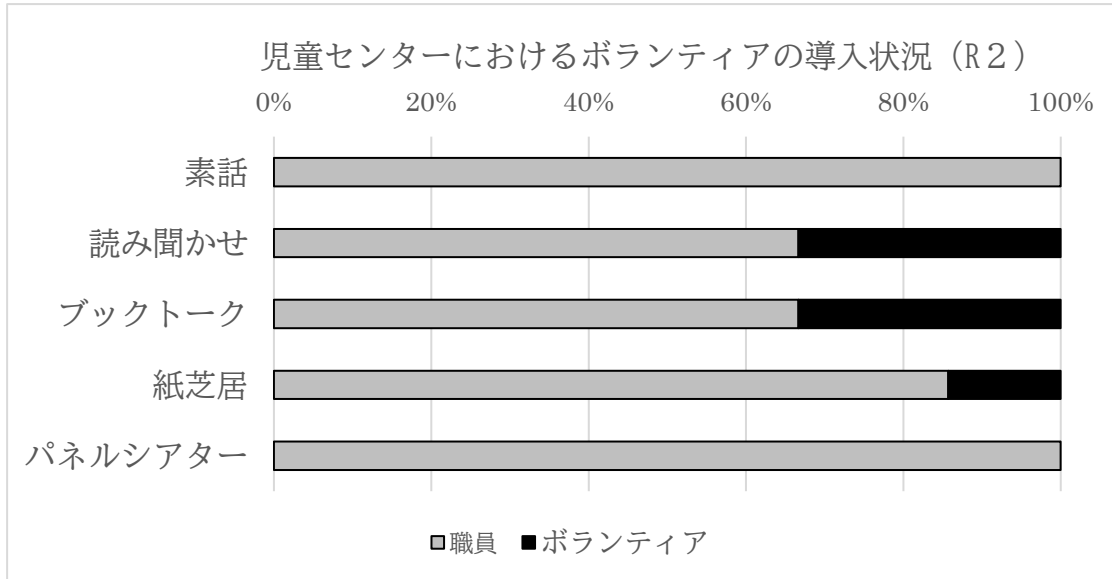


児童センターの読書活動の特徴はパネルシアターの実施率が他の子育て関連施設の中で最も高い割合になっていることと頻度が増加傾向にあることである。しかし他の活動は前回調査から減少した。

意見欄に新型コロナウイルスの影響を挙げた施設が多数あったことから、減少した原因の一つに新型コロナウイルスが考えられる。

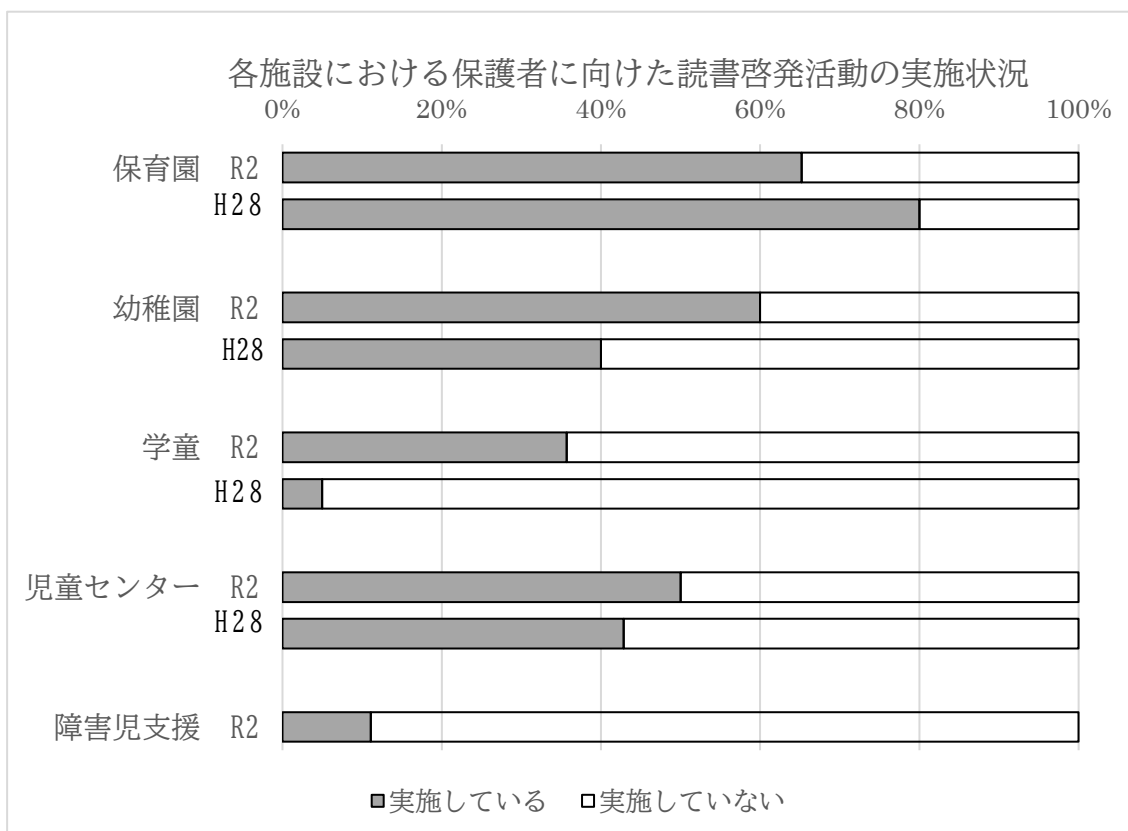
(4) ボランティアの導入状況



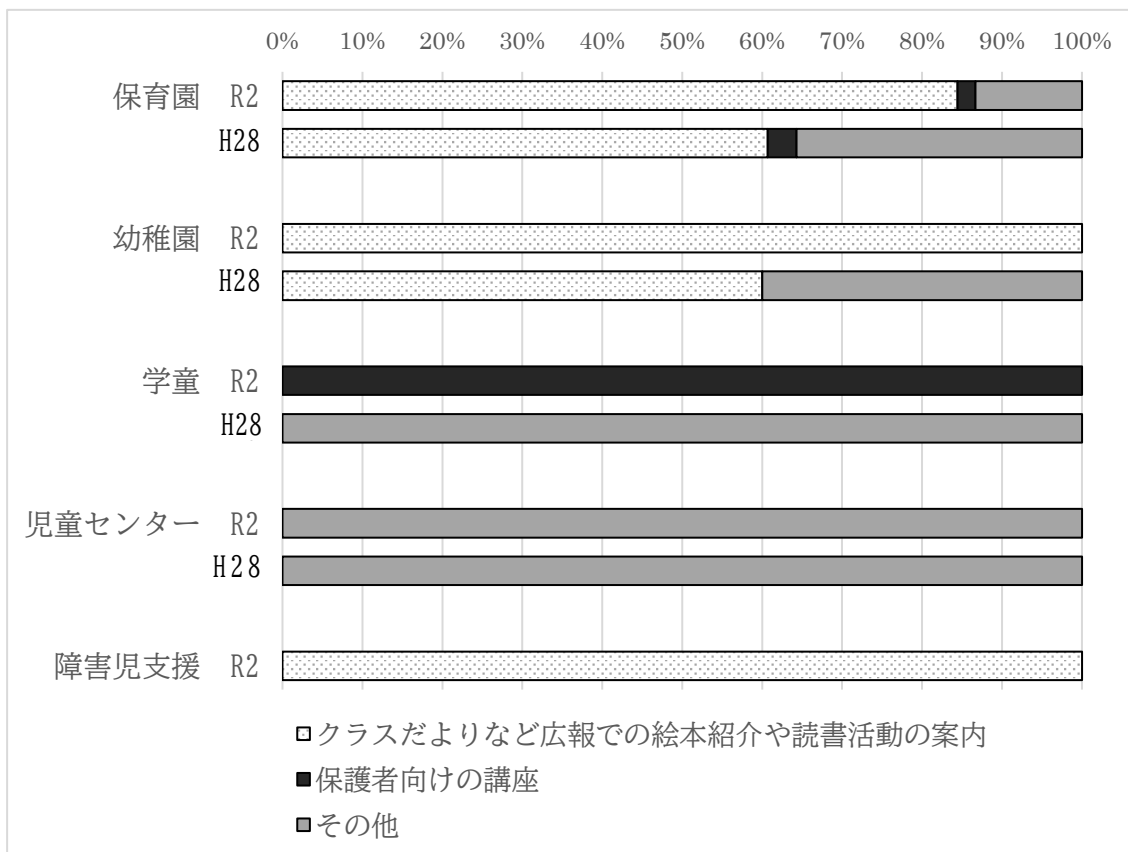


今年度の調査では、活動内容ごとにボランティアの導入状況を調査した。その結果、全体としてボランティアの導入率は低いが、ボランティアが導入される読書活動は施設によって違いがあることが明らかになった。そのため、各施設の要望や状況に合わせたボランティア活動を行うことが重要になると考えられる。

(5) 各施設の保護者に向けた読書啓発活動の実施状況



< 実施内容について >



【その他の内容】

保育園……本の貸出（1施設）

その度保護者にお子さんの気に入った絵本を伝える（1施設）

食育に合わせた絵本を毎月展示（1施設）

参観・説明会など（1施設）

児童センター…ボランティアによる保護者を含めた読み聞かせ（1施設）

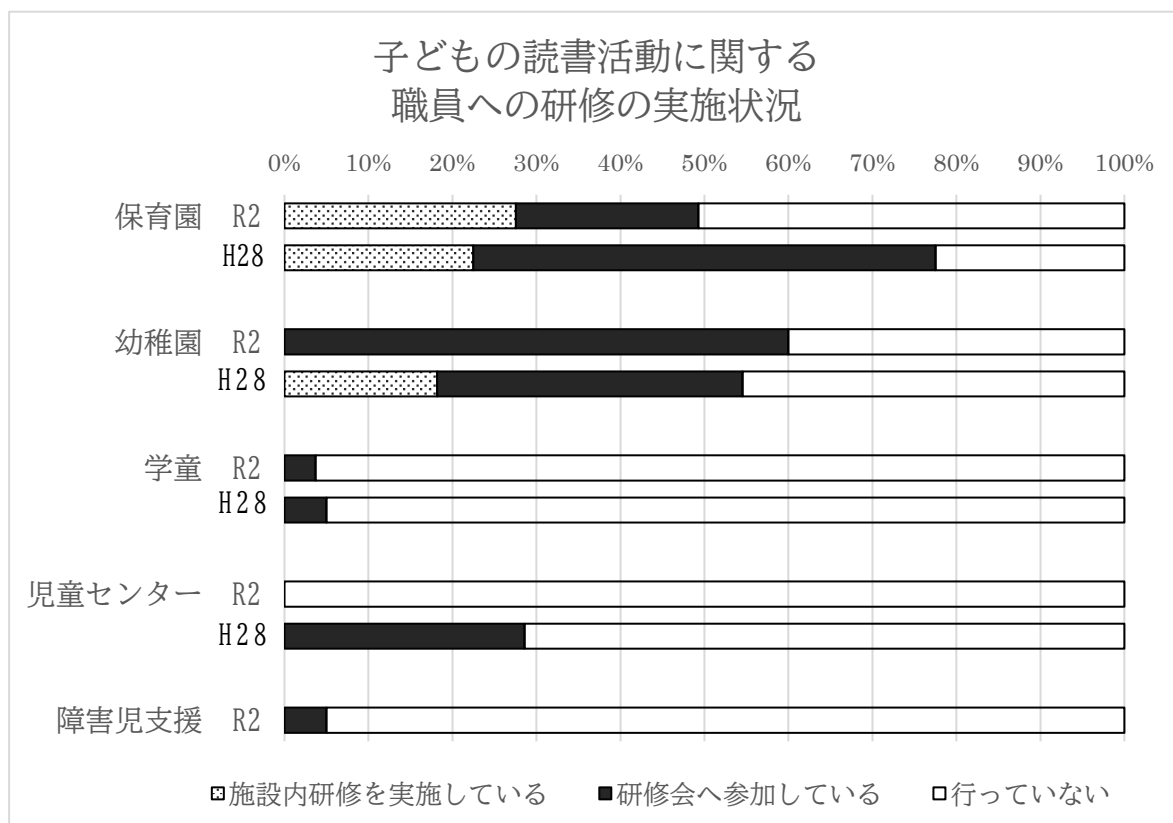
幼児グループ活動内での絵本の読み聞かせ
（1施設）

イベントでの絵本紹介（1施設）

保護者に向けた読書啓発活動については平成28年度に行った調査と比較して概ね増加傾向であったが、保育園のみ減少した。保育園の中には保護者に向けた本の貸出を検討、もしくは行っていたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中断したという意見もあったことから、読書啓発活動においても新型コロナウイルスの影響があったと考えられる。

また、具体的な保護者への読書啓発活動について、幼稚園や保育園、障害児支援施設においては「クラスだより等広報での絵本紹介や読書活動の案内」が50%以上を占めたのに対し、学童や児童センターでは「保護者向けの講座」や「保護者向けの読み聞かせ」といった、保護者と対面での読書啓発活動が活発であることが分かった。

(6) 職員への子どもの読書活動に関する研修について



保育園や幼稚園以外の子育て施設の研修実施率は低かった。実施のあった施設でも、令和2年度は平成28年度と比べて幼稚園以外の施設で研修会参加率が減少している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部の研修会が開催されなかったケースも考えられる。こうした状況下ではあるが、引き続き、子供の読書活動に職員が参加を行える環境を作り、普段の業務で研修成果を実施していくことが望まれる。

質問6 子どもの読書活動推進についてのご意見・ご要望

※「ブックセット」とは、「おはなし しゅっぱつしんこう！」事業において、市内の各乳幼児関連施設に、図書館おすすめの本をブックセットとして寄贈していくものです。

<主な要望事項まとめ>

(件)

	保育園	幼稚園	学童	児童 センター	障害児 支援	計
資料リサイクルの希望	2	0	0	0	0	2
移動図書館	2	0	1	0	1	4
紙芝居の寄贈	1	0	0	0	0	1
ブックセット継続	2	0	0	1	0	3
ブックセットの内容	0	0	0	1	0	1
読み聞かせ訪問	7	0	1	0	1	9
読み聞かせ等の研修・講座	2	3	1	1	0	7
大型絵本の充実	0	0	0	1	1	2
紙芝居の充実	0	0	0	0	1	1

☆…要望

【保育園】

<蔵書について>

☆・古くなって使わなくなった絵本や入替え等によって使わなくなったり余っている絵本がありましたら配布して頂ける機会があると、園児にとっても絵本のマンネリがなくなったり、好きな絵本の発見につながると思うので、検討して頂けると幸いです。

・絵本の読み合いを大切な時間ととらえております。図書館から頂いた本も大事に読ませてもらっています。本を大事に扱うことを赤ち

やんのうちから伝えたくて、ブッカーをかけるようにし、傷んだらすぐに修理するようにしています。

・団体貸出をぜひしてみたいと思いました。よろしくお願い致します。

・保護者への貸し出し文庫を今年から始める予定でしたが、コロナ感染予防から断念しました。

☆・いつも大変お世話になります。子どもたちには絵本を好きになってもらいたいとたくさん読み聞かせを行っています。ただ絵本は高く、なかなか本棚がうまらず、毎月団体利用もさせて頂いていますが、子どもたちがたくさん絵本の中から自分の好きな1冊を手取る機会を増やせればと願っています。移動図書館など保育園をまわって頂けたらと思っています。

☆・移動図書館があるといいなと感じました。

☆・おはなししゅっぱつしんこう第二弾を頂きまして、ありがとうございます。新しい本が身近にあって、いつも手にすることができるのは理想的ですが、図書スペースや蔵書庫が狭いためたくさん本の収納ができずに困っています。子どもは、ていねいに扱うことができなかったり、ビリビリ破ることに興味が向いたりして、絵本の痛みが激しいため、お下がり絵本を譲っていただくのもうれしいところです。リサイクルブックなどありましたら、お下がりをください。

☆・紙芝居を寄贈していただけると、大変ありがたいです。(新品でなくても構いません)

<ブックセットについて>

・絵本の寄贈ありがとうございました。

・絵本のプレゼントありがとうございました。大切に使用させていただきます。

・「おはなし しゅっぱつしんこう！」の絵本ありがとうございます。子ども達も喜んで見たり読んだりしています。

・読書活動推進でいただく本は、内容もよく各年齢で読めるもので良かったです。絵本は高いため、沢山いただけるので子ども達も喜んでいきます。ありがとうございます。

・数年前に図書館より貴重な絵本をたくさん頂戴しありがとうございました。親子で読めるコーナーをホールに設定するなど、普段の保育中だけでなく、保護者にも携わってもらえるような環境づくりをしています。今後も季節ごとの楽しい絵本の紹介もお願いします。

☆・以前図書の寄附をいただき子どもたちへの絵本の貸出を実施し好評を得ている。毎月少冊ずつ購入は行っているが、そのような企画を増やして頂けると大変ありがたいと思う。又、読み聞かせボランティアの活用等も今後検討して行き、職員以外の人との読み聞かせや活動も経験させたい。

・「おはなし しゅっぱつしんこう！」の絵本を配布していただきありがとうございます。子ども達・保育士も新しい絵本を楽しんでいます。今後も続けていただきたいです。ブックコートのかけ方など参考にさせていただきます。

<読み聞かせ・読み聞かせ研修について>

☆・月1回ぐらいで、かたりべの方や（素話）、大型紙芝居の読みきかせなどで保育園を訪問してくださる活動があればよいですね

☆・読み聞かせを行って頂ける専門の方や、職員に指導して頂ける方がいれば、保育園の方に来て頂きたい。

☆・子どもたちへの読み聞かせ訪問をして頂けると嬉しいです。

（大型絵本等）（足立区は1か月に1回程ありました。）

☆・図書館よりの「おはなし しゅっぱつしんこう！」の寄贈がとてもありがたいです。良い絵本（おすすめの絵本）の紹介のチラシや、読み聞かせの研修などがあたらうれしいです。

☆・新型コロナウイルス拡大に伴い、家庭でも園でも絵本と関わる機会を多くもてると思うので、図書館に行かなくてもリモートでの読み聞かせなどがあると嬉しいです。

☆・ボランティアなどで保育園へいらっしゃって、読み聞かせや、出し物（パネルシアター、人形劇）をしていただけるイベントがあるとありがたいです。

☆・訪問型の読み聞かせサービスはありますか？

☆・コロナ禍が落ち着きましたら、読み聞かせに来園して下さったら

楽しいイベント（絵本読み聞かせの会）になるのかしらと考えます。

<研修について>

- ・今年度は研修会等（すべての）不参加でした。今後も、本年度末までは本人が参加希望した場合のみ研修会に参加することを考えています。
- ・この時期、研修に出かけることは厳しいが、園内での研修や意見交換など行うように心がけていきたい。

<現状報告・その他>

- ・運営方針のひとつとして「絵本で子どもの「きらめき（興味、関心、意欲）」を育む」を掲げています。絵本は最高の保育教材であると考えていますので、今後相互理解のもと、子どもたちのために活動推進していければ幸いです。

2 団体貸出について→今後利用を検討しています。

5 研修について→検討したい。

- ・大型絵本はお借りしています。
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせは子どもの心を育てる上で大切だと思うので、今後も積極的に取り入れていきたい。
- ・昔話の本、絵本、紙芝居は、大切に伝承していています。

年中・年少組は素話に興味があり、先生のお話に聞き入っています。百科事典に興味があり、よく観察しております。個人的に図書館を利用している子ども達があります。喜んで報告してくれます。ありがとうございます。

- ・小規模保育園へ情報が入らずにいる。
- ・以前にいただいた本を活用させていただき、コロナの感染症が落ち着きましたら、保護者の方にも読み聞かせをして、絵本を広げていただきたい思いから、貸し出しを始める予定です。
- ・キャラクターやゲーム中心の子どもたちによりよい絵本を伝えていきたいと考えています。そのためにハードカバーの本を保護者に伝え、大切に取り扱い子どもとの交流のひとつとして取り入れて欲しいと思っています。

【幼稚園】

<読み聞かせ等の研修・講座について>

☆・絵本の読み聞かせのプロのお話を聞いてみたいですです。童心に戻って。

☆・絵本を下さいましてありがとうございました。カバーフィルムの貼り方を教えていただきたいと思いますが、講習会など行っていただけませんかでしょうか。

☆・幼稚園の保護者に向けての出前講座（読みきかせの大切さ・本の選び方・本を楽しむこと 等について）等があったら嬉しいです。プロの司書さんに話して頂けると教員より説得力があると思うので。

<現状報告・その他>

・園児から図書館の使用の件は時々聞きます。保護者さまによってという部分が多いです。おたより等で時々絵本や読書の楽しさ、大切さを発信しています。

今後、親子で絵本を楽しむ会などが身近で行きやすい場所で行われるといいですね。私も園でそのような機会（お母さんの読み聞かせ会）を企画しています。

各クラスに本棚があり、自由時間に各自自由に読みます。玄関ホールにも図書スペースがあり、自由に使用しています。保育では、毎日、降園時に絵本・紙芝居・素話等必ず読み、心を落ちつかせて降園するようにしています。

- ・毎月、学年毎年齢に合った絵本や教材を子ども達に配布しています。
- ・毎週日を決めて図書の貸出をしています。楽しみにしている子どもたち、次はあの本を借りると決めている様子です。特に秋冬には親子で何回も繰り返し読んでほしいと思っています。

【学童】

<蔵書について>

☆・学童内にある本はほぼほぼ読んでしまっているので、新しい本に親しんでもらいたいので、移動図書などがあると嬉しいです。

< 団体貸出について >

- ・ 何度か借りに行くことはありましたが、手間がかかり行かなくなってしまいました。
- ・ 団体貸出をもっと利用したいと思います。

< 読み聞かせについて >

- ☆ ・ いつもお世話になっております。本を読むことが好きな子が増えるような子ども向けのイベントなどありましたら教えていただいたり、職員の方に来ていただいて子どもたちにお話をしていただければとうれしいです。

< 研修について >

- ☆ ・ どのように啓発活動をしたら良いのか研修会などがあったら参加したいです。すばる書店さんには、本の取り扱い講座など行ってもらっています。

< 現状報告・その他 >

- ・ 長期休みの時に読み聞かせを行っている。
普段より食後、おやつ後、学習後に読書の時間をとっている。
コロナ前は1カ月に1度森の図書館へ団体図書を借りに行く。また、最近自分たち職員が子どもたちにとって良い本を選び購入。子どもたちが学童へ自分が読みたい本を持参することも可としている。

【児童センター】

< 蔵書について >

- ・ コロナ禍で、イベント内での読み聞かせも、安全な方法での実施について色々と遠慮しなければならないことが増えたと感じております。
遠い距離からでもよく見える大型絵本のレパトリーが増えたらぜひ活用させていただきたいと思います。

< ブックセットについて >

- ・ 昨年、今年とブックセット配布して下さりとてもありがたく図書室に

置いております。親子活動の際に活用したり、来館者が読んだりしています。継続していただくと嬉しいです。

- ・ 図書の予算がないので、「おはなし しゅっぱつしんこう！」の絵本はとても助かります。
- ☆ ・ お世話になっております。先日はたくさんの本ありがとうございました。最近児童館では乳幼児の利用が多くなりました。いただく機会がありましたら、乳幼児用が助かります。図々しいお願いで申し訳ありません。

<現状報告・その他>

- ☆ ・ NPO の民間図書の導入をした矢先にコロナで図書室が閉鎖になってしまい、閲覧も貸し出しも出来ない状態が続いています。早く開館して、子供達が読書できる環境を戻してあげたいと考えておりますが、その際の対策・工夫など伝授していただくと助かります。

【障害児支援施設】

<蔵書について>

- ☆ ・ 主に、皆が見やすいビッグブックの読み聞かせをしています。家にはない大きな本は特別感があり子供達も楽しく聞いてくれています。もう少しビッグブックを増やしていただき、選べると嬉しいです。宜しくお願いします。
- ☆ ・ 図書館まで行き、借りる時間がなかなかとれず、時間のある職員がプライベートで自宅そばの図書館で個人的に本を借りてきている状態のため、事業所を回る移動図書館があるとありがたい。
- ・ 紙しばいを10冊借りられるのは、とてもありがたいです。これからも、よろしく申し上げます。
- ☆ ・ 紙芝居の蔵書の充実。
- ☆ ・ おすすめや年代（～3才・年少・年中・年長）にあわせた分類など
選びやすい工夫があると良いと思います。（選ぶのに時間がかかってしまう）

<読み聞かせについて>

☆・低学年向けの読みきかせボランティア等ございましたら利用したいです。

<現状報告・その他>

- ・毎月流山市の図書館で本を借りています。子どもたちは自由時間や読書の時間に自身で読んだり見たりして楽しんでいます。感想発表もしています。今後ともよろしくお願い致します。
- ・団体貸出を利用したいのですが、障害児童の中には本をやぶいてしまったり、色をぬってしまったりもあり、気軽に利用できないのが実情です。
- ・紙芝居、パネルシアターが不足しています。団体貸出など利用してみたいと思いました。また保護者や職員への啓発も必要性を感じています。

総合考察(子育て関連施設)

蔵書冊数の平均は保育園、幼稚園、児童センター、学童クラブで増加が見られた。団体貸出は学童以外での2割以下の利用率となったため、利用方法の周知や引き続き、利便性向上等に努める必要がある。

読書活動の活動状況は、保育園、幼稚園、学童クラブにおいては増加傾向がみられたが、児童センターは読み聞かせやブックトークの活動の減少が見られた。減少の理由として、「コロナで図書室が閉鎖になった」という児童センターからの意見があったことから、新型コロナウイルス感染症の影響があると推察される。また障害児支援施設においては、紙芝居や読み聞かせを中心とした読書活動をする施設が多いことが明らかになった。

ボランティアの導入状況については、学童クラブや児童センターは全体的に高く、障害児支援施設ではパネルシアターや素話における導入率が高かったが、幼稚園や保育園では総じて低かった。しかし、幼稚園や保育園は読み聞かせにボランティアを導入する傾向があり、幼稚園、保育園からの意見にも読み聞かせを重視する旨が寄せられていた。よって、各施設の要望や状況に合わせ、ボランティアの導入を進めていくことが重要である。

保護者に向けた読書啓発活動は多くの施設で増加傾向となった。また施設によって、主体となる啓発活動に違いがあった。

そして、今回の調査では障害児支援施設も対象に行った。調査の結果、蔵書冊数は少ないものの、職員による読み聞かせやボランティアの導入、団体貸出を利用するなど様々な工夫をしながら読書活動を推進している実態が明らかになった。

7 学校における子どもの読書活動状況調査結果

※記入のないものは未回答として計上した。

※いずれも平均数値は回答施設数を分母として計算している。

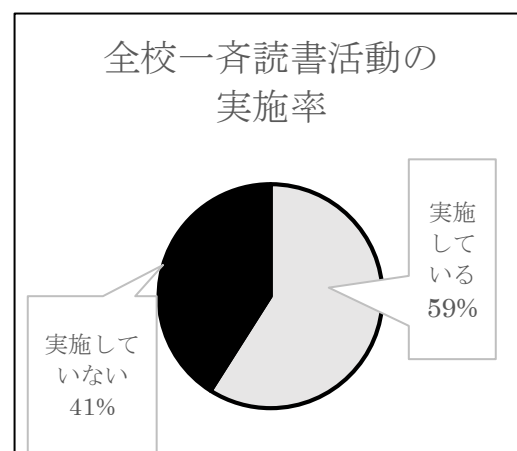
※パーセンテージは小数点3桁以下繰上げ。

※特に単位の指定の無いものに関しては、
全て施設数とする。

質問1 全校一斉読書活動の実施状況について

<実施率>

施設名	実施している	実施していない	実施している割合 (%)
小学校	9	8	53
中学校	9	0	100
高等学校	1	3	33
特別支援学校	0	2	0
合計	19	13	59



<実施頻度>

施設名	未回答	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回	その他
小学校	0	7	1	0	1	0	0
中学校	0	0	0	1	1	7	0
高等学校	0	0	0	0	0	0	1※
合計	0	7	1	1	2	7	1

※その他の内容：朝活動のひとつとして年間計画の中で行っている。各学期10日間程度。

< 実施時間 >

施設名	未回答	10分実施	15分実施	20分実施
小学校	0	1	7	1
中学校	1	5	3	0
高等学校	0	1	0	0
合計	1	7	10	1

全校一斉の読書活動実施状況について、半数以上の学校で実施があることがわかった。前回調査よりも小学校の実施数が減少（14校→9校）しているが、新型コロナウイルス感染症拡大のための休校により、日課変更のため実施できないという報告があった。

質問 2 学校図書館について

(1) 蔵書について

<蔵書冊数> (小数点第一位以降四捨五入)

【令和元年度】

施設名	未回答	総数 (冊)	1施設当たり平均(冊)	最低冊数(冊)	最高冊数(冊)
小学校	0	183,658	10,803	3,047	15,000
中学校	0	120,477	13,386	7,571	19,000
高等学校	0	97,286	24,321	20,000	28,100
特別支援学校	1	1,800			
合計	1	403,221			

【平成27年度】

<蔵書冊数>

施設名	未回答	総数 (冊)	1施設当たり平均(冊)	最低冊数(冊)	最高冊数(冊)
小学校	0	191,294	11,956	6,388	15,286
中学校	0	128,286	14,254	6,533	19,018
高等学校	3	23,775			
合計	3	343,355			

<購入冊数> (冊数は小数点第一位以降四捨五入) 【令和元年度】

施設名	未回答	総数 (冊)	1施設当 たり平均 (冊)	最低冊 数(冊)	最高冊 数(冊)	1施設当たり 購入の割合平 均(%)※
小学校	1	6,231	389	184	933	3.7
中学校	0	3,522	392	230	543	6.0
高等学校	0	1,715	429	320	512	1.8
特別支援学 校	0	150	75	50	100	5(1施設分の み)
合計	1	11,618				

※一施設における蔵書冊数に対する購入冊数の割合の平均値

<廃棄冊数> (冊数は小数点第一位以降四捨五入) 【令和元年度】

施設名	未回答	総数 (冊)	1施設 当たり 平均 (冊)	最低冊 数(冊)	最高冊 数(冊)	廃棄を 行っ て いる 学 校 数	1施設 当たり 廃棄の 割合平 均(%) ※
小学校	2	2,374	158	184	933	9	2.4
中学校	0	1,144	127	239	605	3	8.2
高等学校	0	0				0	
特別支援学 校	0	0	0			0	
合計	1	388,821					

※廃棄を行った施設における蔵書冊数に対する廃棄冊数の割合の平均値

蔵書冊数について、小・中・高等学校においては前回調査からほぼ横ばいであることがわかった。全体からみて最高冊数は高等学校 28,100 冊、最低冊数は特別支援学校の 1,800 冊であった。

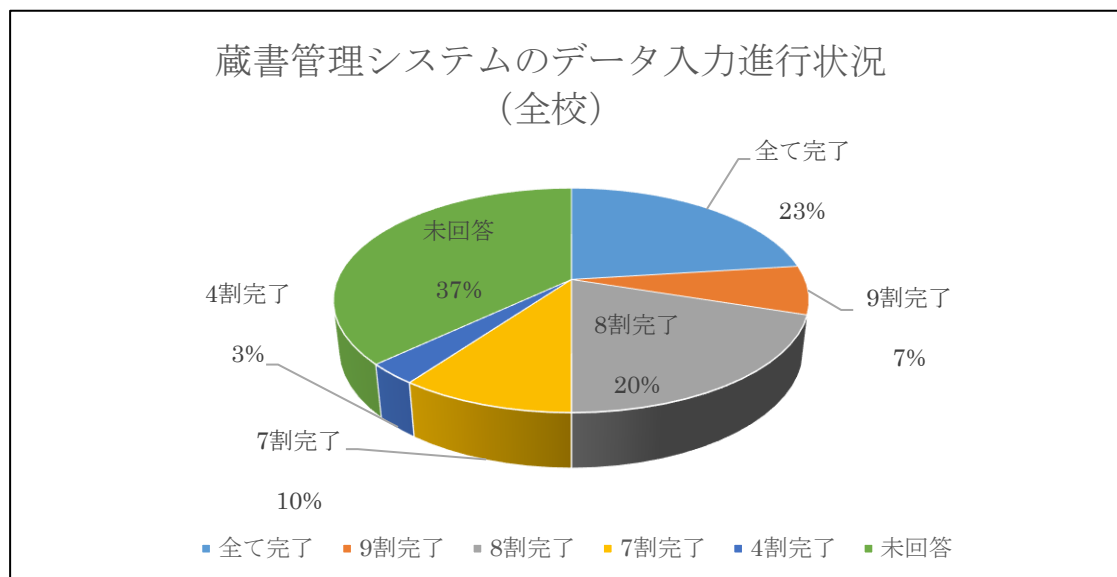
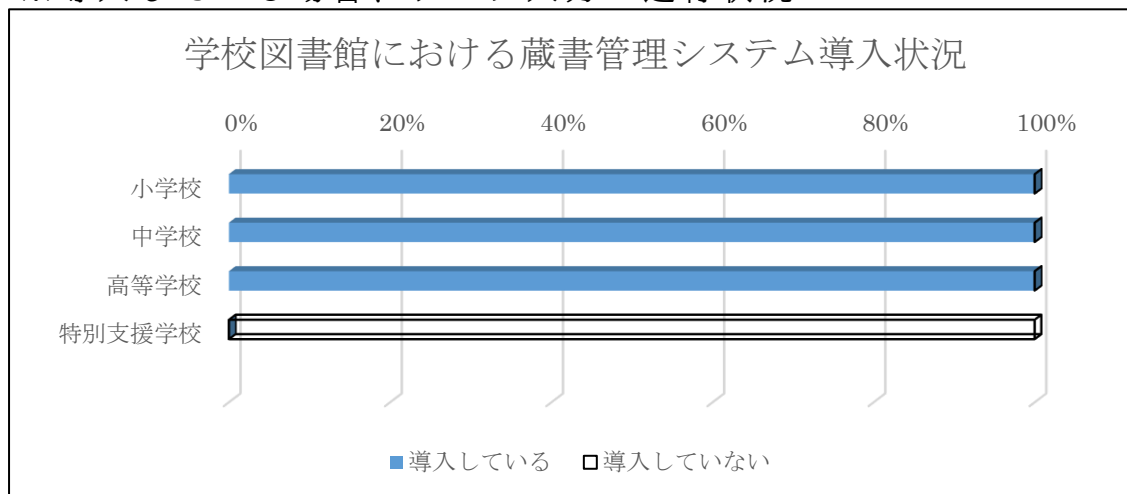
1 施設あたりの購入冊数は、小・中・高等学校は 400 冊前後、特別支援学校は 75 冊で、蔵書冊数全体に対する購入の割合は、最高値が中学校の 6%、最低値が高等学校の 1.8%であった。

蔵書の廃棄について、小学校はおよそ 6 割、中学校においては 3 割における学校が廃棄処理を行っており、高等学校、特別支援学校においては廃棄を行っていなかった。回答を行った施設において、蔵書冊数に対する廃棄の割合は、小学校 1 施設あたり 2.4%、中学校 1 施設あたり 8.2%である。

購入に対し廃棄の割合が多いものの、積極的に蔵書の刷新をおこなっている学校が小学校で 6 割、中学校で 3 割にのぼると考えられる。

(2) 蔵書管理システムについて

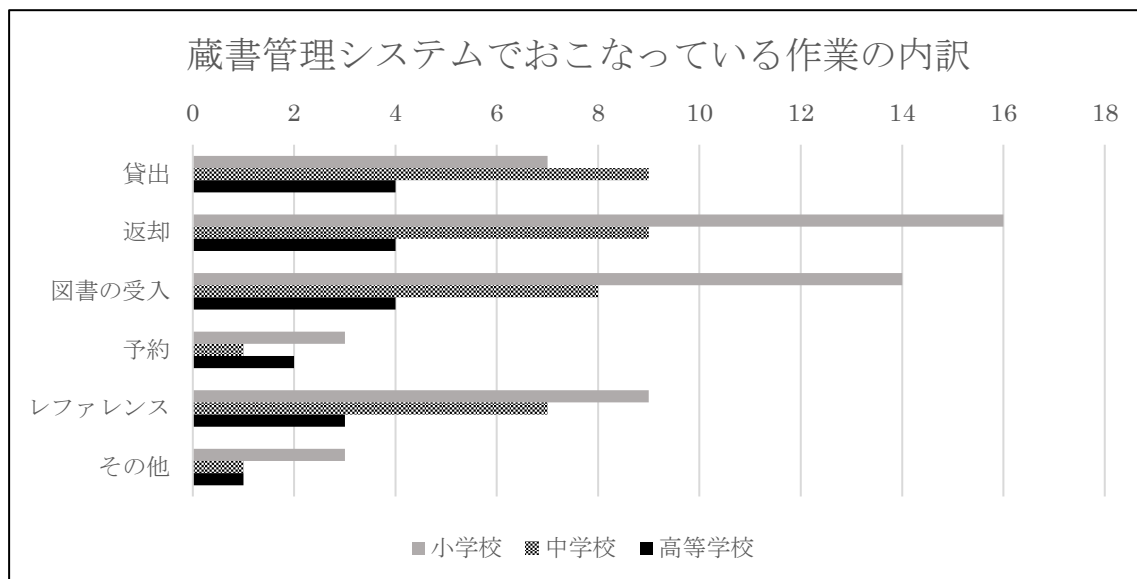
※導入している場合、データ入力の進行状況



(3) (ア) 導入している学校が使用しているシステム名

- 公立小・中学校 / School Pro Ver6.0 for Windows
- 私立小学校 / 図書館流通センター
- 高等学校 / CASA, CASA plus

(イ) どのような作業の際、システムを利用しているか



【その他の内容】

小学校：統計確認、生徒のバーコード発行、督促、貸出期間設定、進級処理

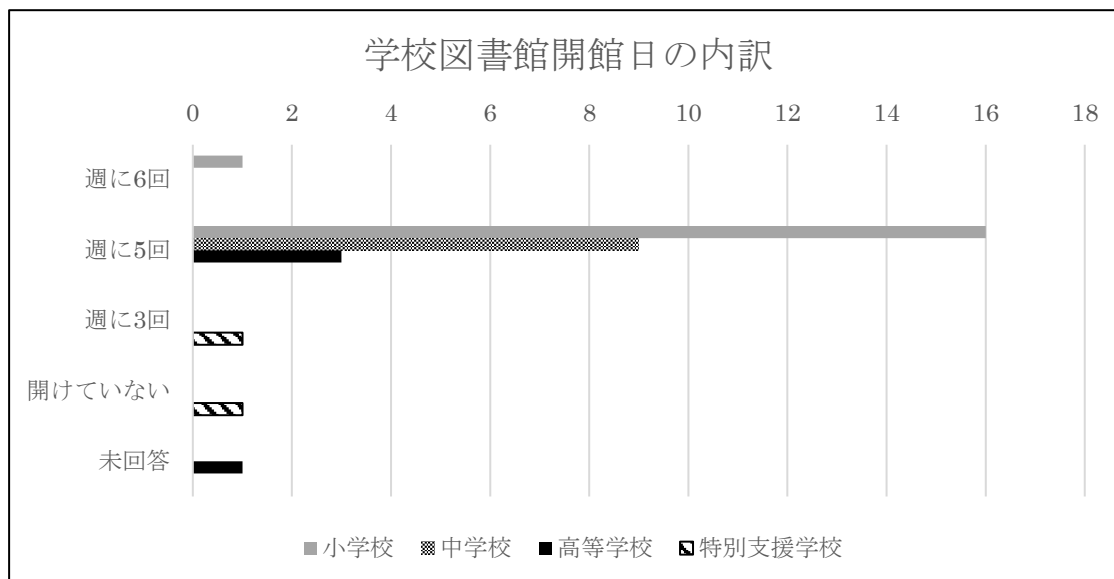
中学校：分類別資料冊数、貸出傾向等の統計や分析

高等学校：統計確認、生徒のバーコード発行、督促、貸出期間設定等

蔵書管理システムは小・中・高等学校全校で導入されており、特別支援学校には導入されていなかった。60%の学校でデータ入力の7割以上を完了しており、うち全て完了している学校は23%だった。蔵書管理システムを使って行っている作業は貸出、返却、図書の入、レファレンスで主に利用されていることがわかった。その他の内容でもわかるように、蔵書管理システムによって多岐にわたり図書館業務をこなしている様子がうかがえる。

(4) 開館時間について

< 学校図書館 開館日 >



< 学校図書館 開館時間帯 > (複数回答可)

施設名	開校中	昼休み	放課後	登校日などの 土日・長期休 業日	その 他
小学校	17	10	1	1	1※1
中学校	2	8	1	0	4※2
高等学校	4	0	0	2	0
特別支援学校	0	1	0	0	1※3
合計	23	19	2	3	6

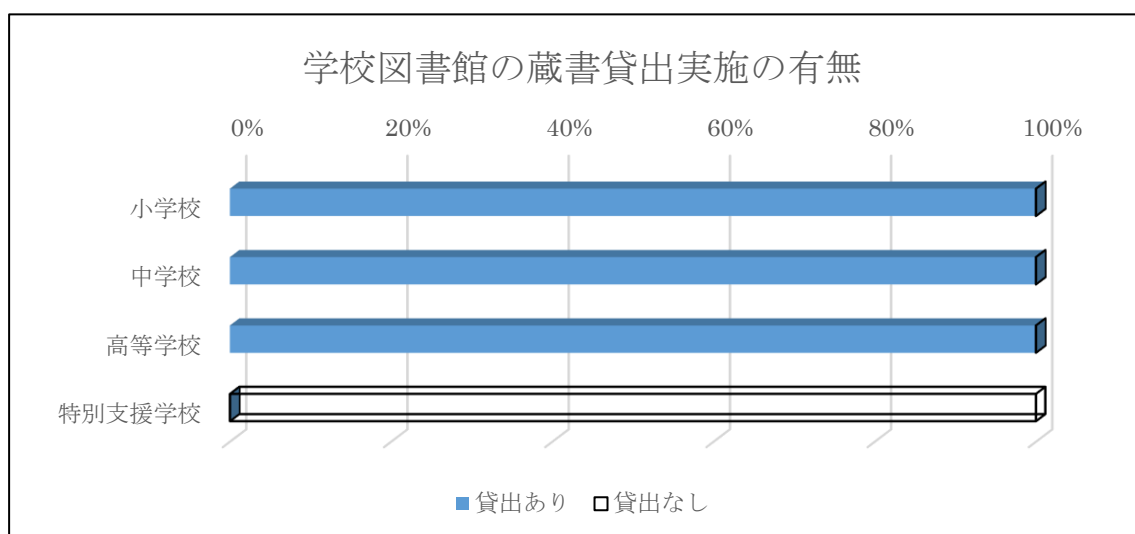
※1 行間休み

※2 学校図書館司書出勤日 (週1, 2回)

※3 朝8時~8時15分

学校図書館を週に5回開館している学校が最も多く、私立小学校においては週に6回、特別支援学校においては週に3回開館している。また、長期休業期間にも開館している学校や、中学校においては学校図書館司書の出勤に合わせて開館しているところも見られた。

(5) 学校図書館の蔵書貸出の有無



(6) 図書の貸出方法

< 1回の利用における貸出上限冊数 >

施設名	1冊	2冊	3冊	5冊
小学校	10	6	1	0
中学校	1	5	3	0
高等学校	0	0	2	2
合計	11	11	6	2
全体での割合 (%)	37	37	20	7

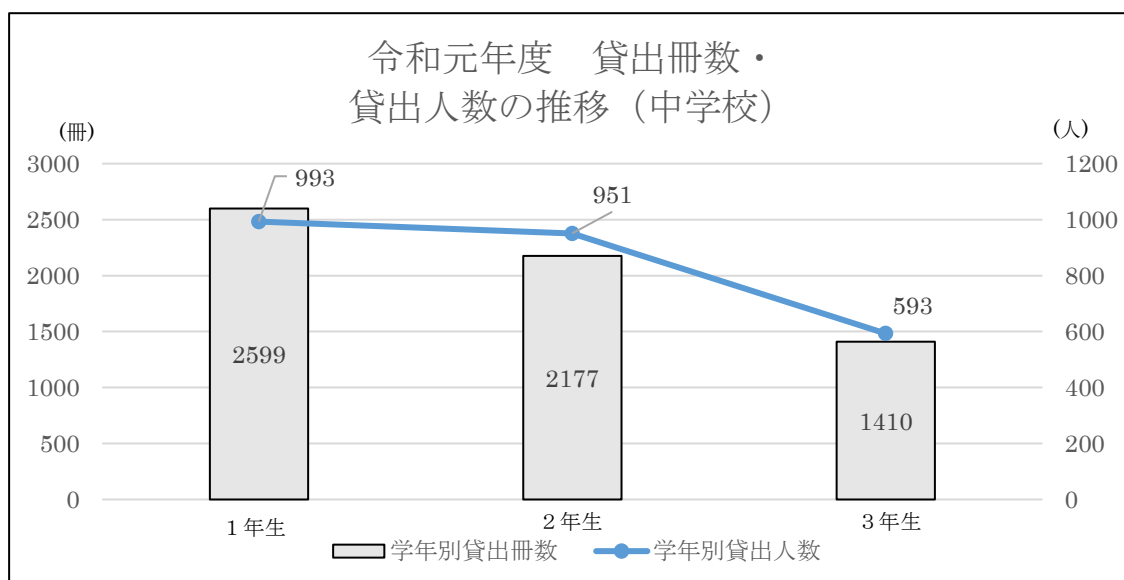
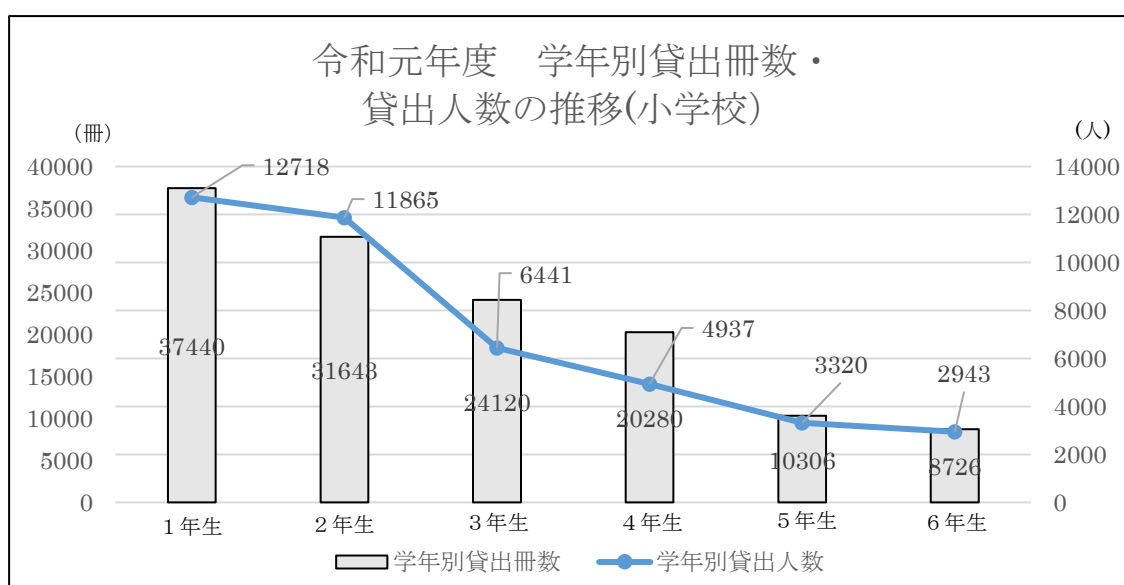
< 1回の利用における貸出期間 >

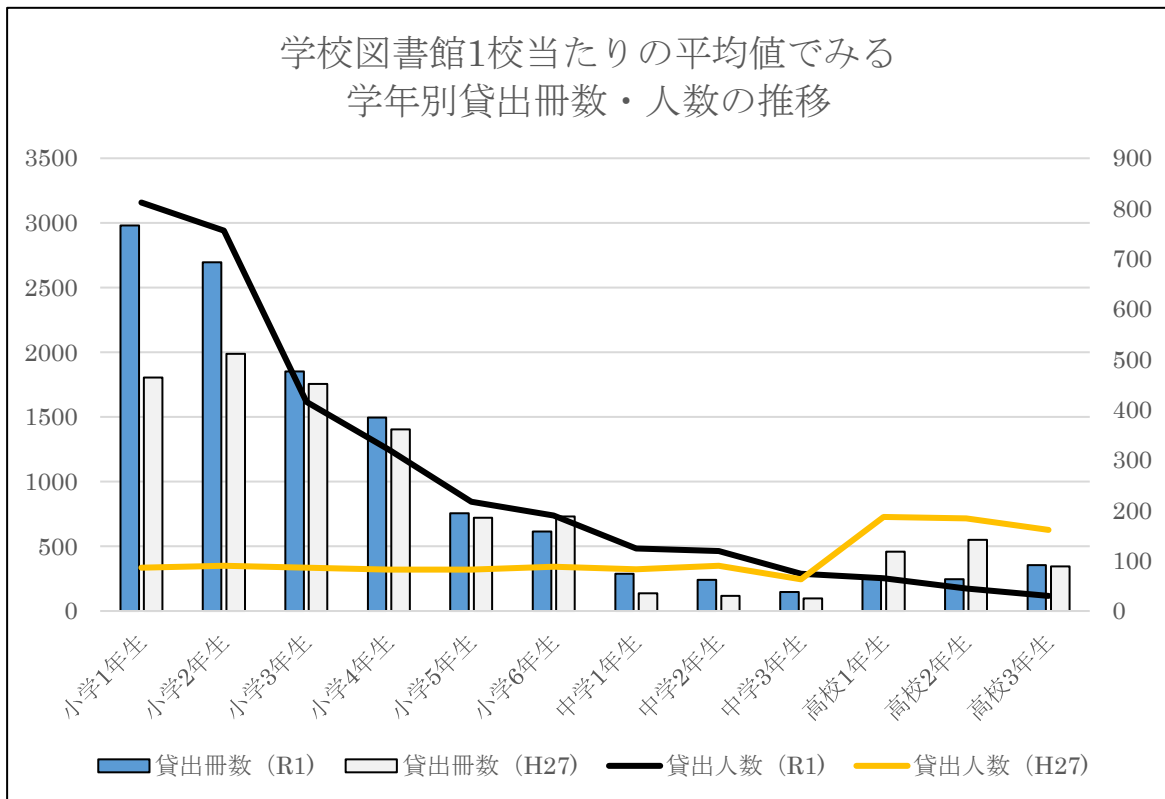
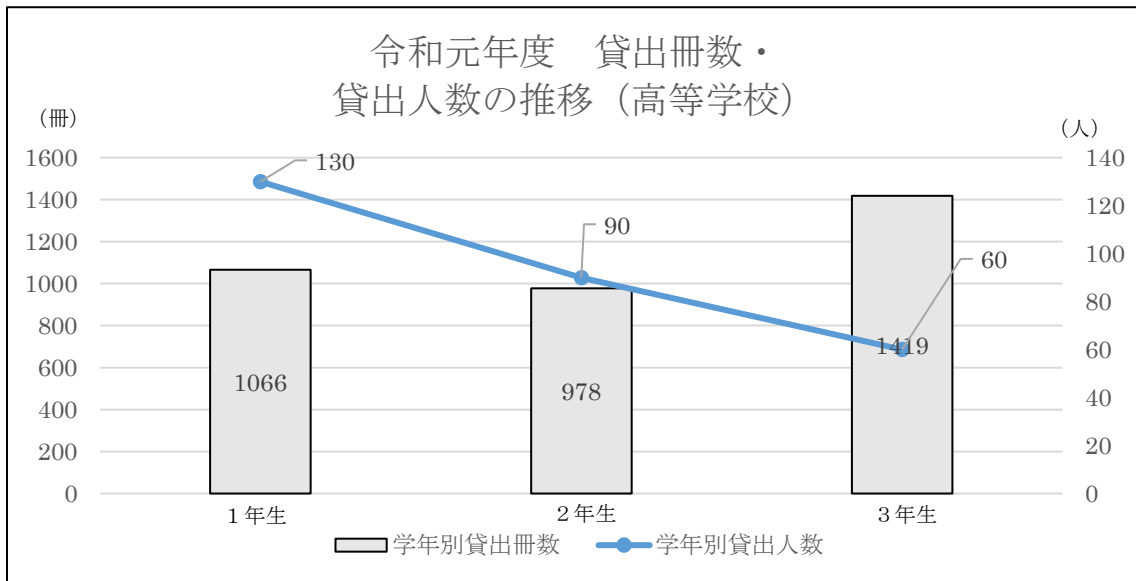
施設名	7日間	14日間
小学校	15	2
中学校	2	7
高等学校	0	4
合計	17	13
全体での割合 (%)	57	43

< 令和元年度総貸出冊数 >

施設名	未回答施設数	総数(冊)	1施設当たり平均(冊)	最低冊数(冊)	最高冊数(冊)
小学校	1	182,626	11,414	3,634	50,000
中学校	0	6,331	703	381	1,230
高等学校	0	3,543	886	260	1,386
合計	1	192,500			

< 令和元年度学年別貸出冊数・貸出人数 > ※概算による





※貸出冊数平均 = 学年別貸出冊数 ÷ 各種学校別の学校数

貸出人数平均 = 学年別貸出人数 ÷ 各種学校別の学校数

○学年別貸出冊数（令和元年度）

施設名	未回答	1年生 (冊)	2年生 (冊)	3年生 (冊)	4年生 (冊)	5年生 (冊)	6年生 (冊)
小学校	2	37,440	31,643	24,120	20,280	10,306	2,943
中学校	0	2,599	2,177	1,410			
高等学校	0	1,066	978	1,419			
合計	1	41,105	34,798	26,949	20,280	10,306	2,943
小学校 1施設平均		2,980	2,697	1,852	1,495	756	615
中学校 1施設平均		289	242	147			
高等学校 1施設平均		266	246	355			

○学年別貸出人数（令和元年度）

施設名	未回答	1年生 (人)	2年生 (人)	3年生 (人)	4年生 (人)	5年生 (人)	6年生 (人)
小学校	1	12,718	11,865	6,441	4,937	3,320	2,943
中学校	1	993	951	593			
高等学校	2	130	90	60			
合計	4	13,776	12,861	7,064			
小学校 1施設平均		812	756	416	321	217	190
中学校 1施設平均		124	119	74			
高等学校 1施設平均		65	45	30			

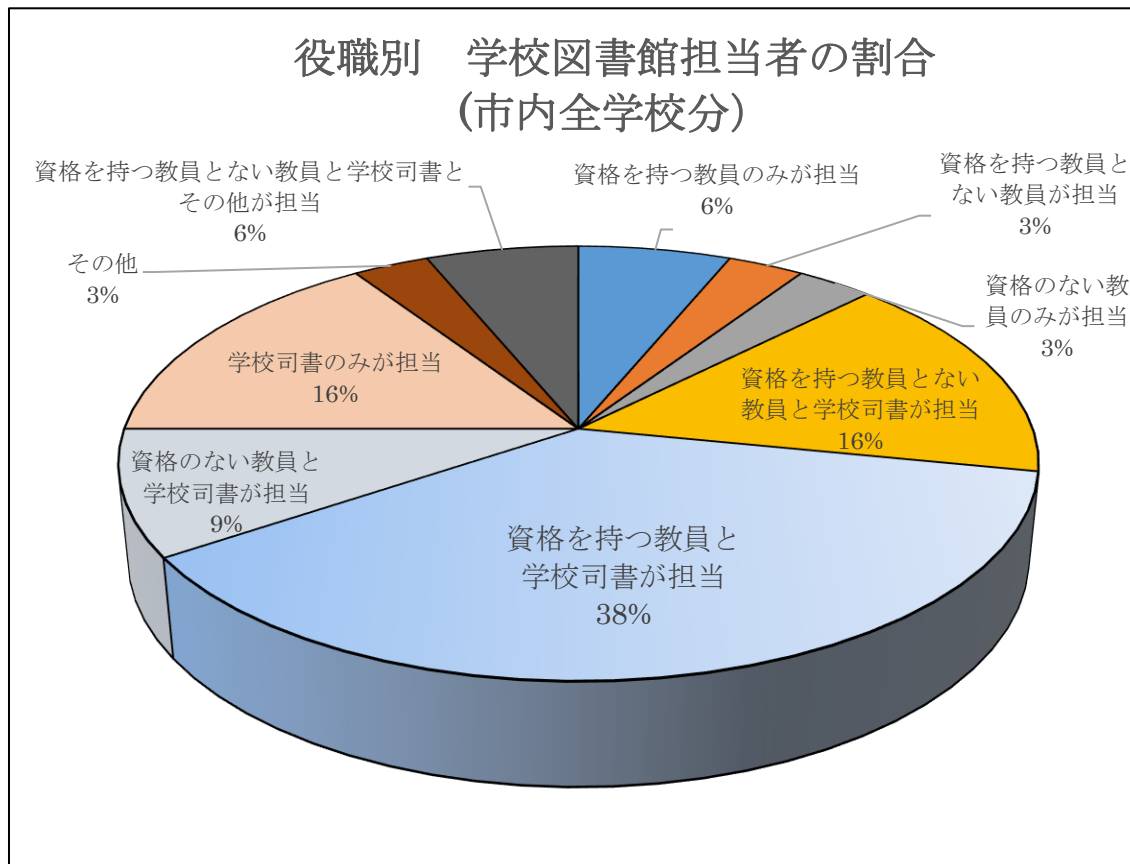
学校図書館での貸出冊数・貸出人数について、小・中・高等学校すべてにおいて、平成27年度より大幅に数値が上昇した。特に小学校の学校図書館における数値の増加が顕著であり、低学年においては1校当たりの貸出冊数・貸出人数が大幅に増加した。中学生においてもわずかながら増加傾向であることがわかる。ここ4年間での生徒数増加や、前回調査より回答率が上がり、データの正確さが上がったことに加え、学校図書館司書が全校配置され、図書館の環境が改善されたことも理由のひとつと考えられる。

また、学年が上がるごとに貸出人数・冊数ともに減少傾向であることがわかるが、特に高校生においては、前回結果より貸出冊数・人数ともに減少している。中・高校生に向けた読書活動の推進が必要であると考えられる。

(7) 学校図書館の担当者について

(ア) メインの学校図書館担当者について

<学校図書館担当者> ここでの資格とは司書教諭資格を指す。



施設名	資格を持つ教員のみが担当	資格を持つ教員とない教員が担当	資格のない教員のみが担当	資格を持つ教員とない教員と学校司書が担当	資格を持つ教員と学校司書が担当
小学校	0	0	1	2	7
中学校	0	0	0	3	5
高等学校	0	1	0	0	0
特別支援学校	2	0	0	0	0
合計	2	1	1	5	12

施設名	資格のない 教員と学校 司書が担当	学校司書の みが担当	その他	資格を持つ 教員とない 教員と学校 司書とその他 が担当
小学校	3	3	0	1※2
中学校	0	1	0	0
高等学校	0	1	1※1	1※3
特別支援学 校	0	0	0	0
合計	3	5	1	2

<学校図書館司書担当者の人数平均※> (人)

施設名	資格をもつ 教員の1校 当たり平均 人数	資格がない 教員の1校 当たり平均 人数	学校図書館 司書の1校 当たり平均 人数	その他の1校 当たり平均人 数
小学校	0.7	0.3	0.9	0.1※2
中学校	0.89	0.33	1	0
高等学校	0.5	0.75	0.5	0.5※1、※3
特別支援学 校	1	0	0	0

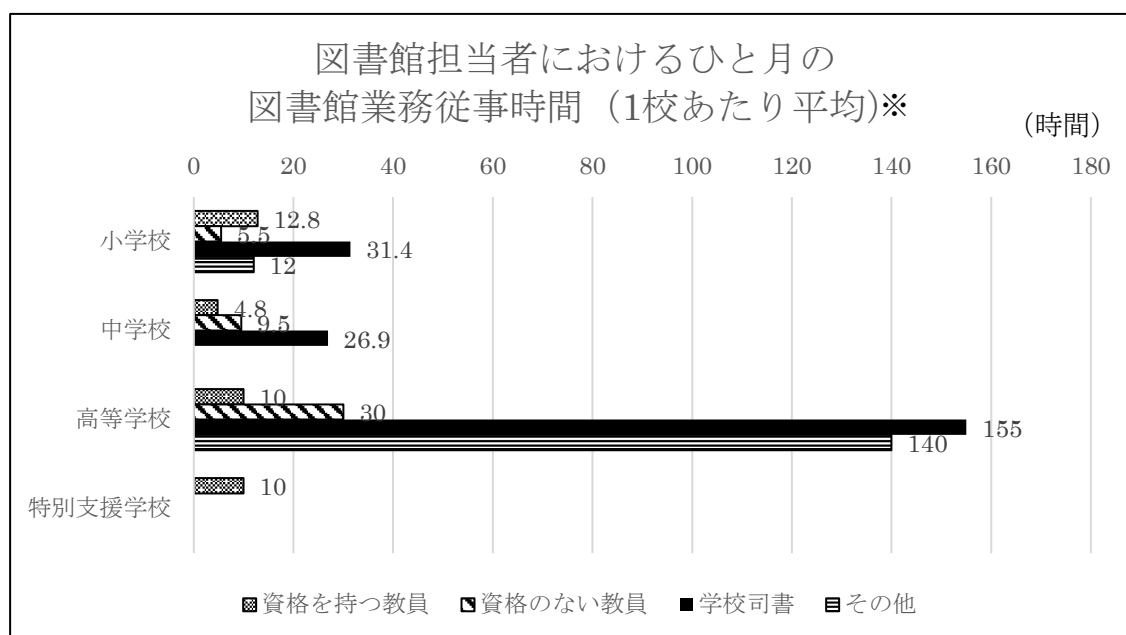
※担当者人数÷該当担当者がいる学校数で計算

※1 実習助手（司書）

※2 その他：特別非常勤講師

※3 その他：特別支援

< 各担当者の図書館業務従事時間 1校当たりの平均時間（月） >



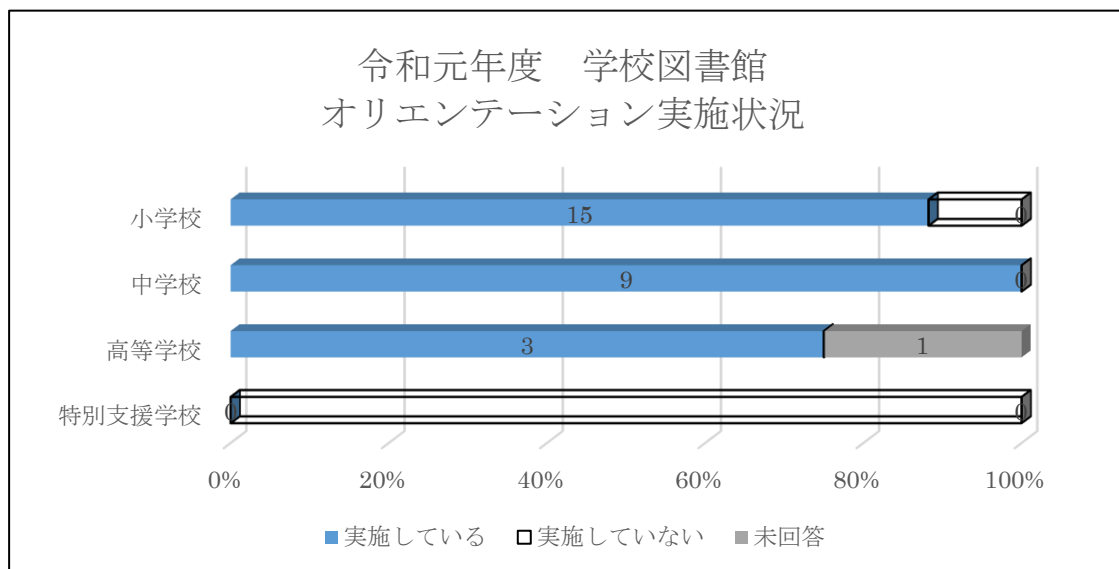
※担当者の月あたり図書館業務従事時間の合計 ÷ 該当担当者がいる学校数

学校図書館担当者について、平成28年度は資格をもつ教員のみが担当している学校が多かった（15校）が、資格をもつ教員と学校図書館司書が担当する学校の割合が大幅に増え、資格のない教員と3人体制で担当する学校の割合も合わせると、全体の54%に及ぶ。高等学校においては学校図書館司書業務をメインで行う実習助手の存在を含め、ほぼ学校図書館司書が業務を担当しているといえる。特別支援学校においては資格のある教員が1校につき1名の割合で担当している。

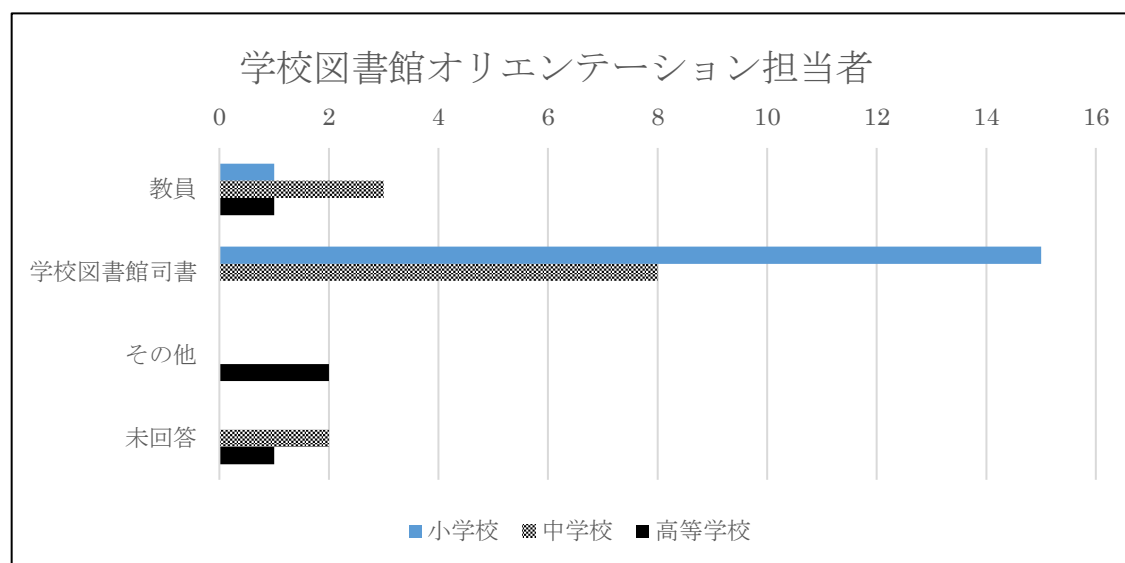
学校図書館担当者の人数については、資格のある教員と学校図書館司書の割合が全体的に多く、学校図書館運営に必要な知識をもつものが担当者として1校に1名近く備わりつつあるといえる。

学校図書館担当者の業務従事時間については、毎日7.5時間程度司書が常駐していることが多い高等学校に比べ、小・中学校は学校図書館司書においてもわずか5～6分の1程度である。また中学校の資格のある教員は、従事する時間が他の学校に比べて最も少ない状況にある。

(8) 学校図書館オリエンテーション実施状況



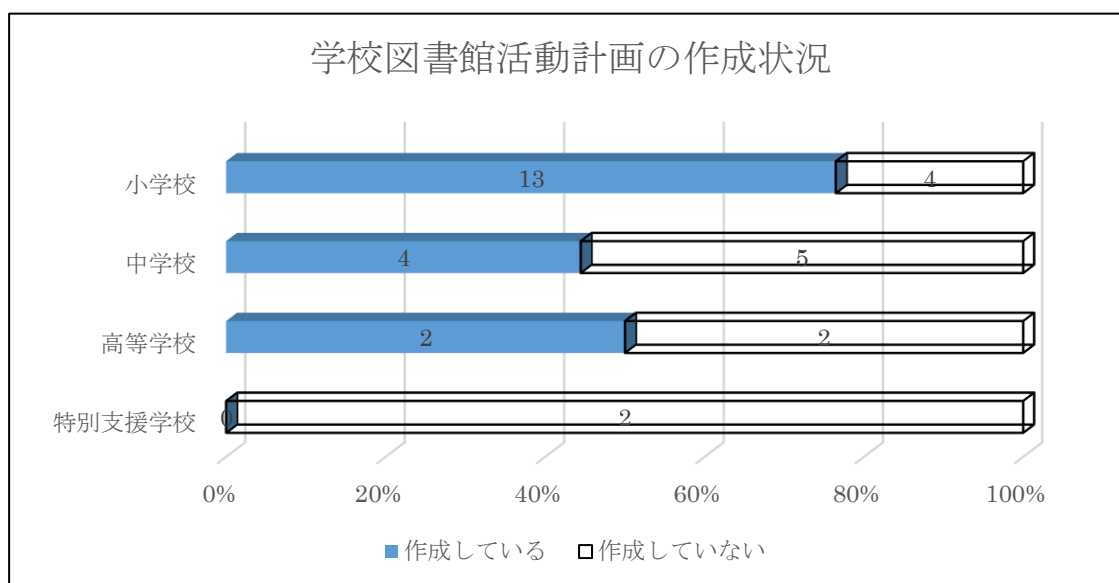
<オリエンテーション担当者> ※複数回答可



【その他内容】

高等学校：実習助手

(9) 学校図書館活動計画の作成状況



学校図書館の利用を促すうえで重要である学校図書館のオリエンテーションについては、平成28年度よりも小・中学校で大幅に実施率が上がり、ほぼ全校で実施されるようになった。(小学校：7校→15校、中学校：5校→9校)オリエンテーションの担当者は、主に学校図書館司書が実施しており、小・中学校全校に図書館司書を配置したことが大きく関わっていることがわかる。

学校図書館活動計画の作成状況については、平成28年度と比較するとほぼ変化はないが、中学校において作成する学校が6校から4校に減少している。

質問3 パソコン、インターネット環境について

(1) 生徒が調べものに利用できるパソコンの設置数及び生徒一人当たりの台数

(2) 生徒が利用できるタブレットの設置数及び一人当たりの台数
 <1校当たり平均※(未回答学校を除く)>

	パソコン 台数(台)	1台当たり の児童生徒 数(人)	タブレット台 数(台)	1台当たりの 児童生徒数 (人)
小学校	36	20	17	28
中学校	31	42	21	5
高等学校	27	24	0	0
特別支援学 校	0	0	0	0

<未回答学校数>

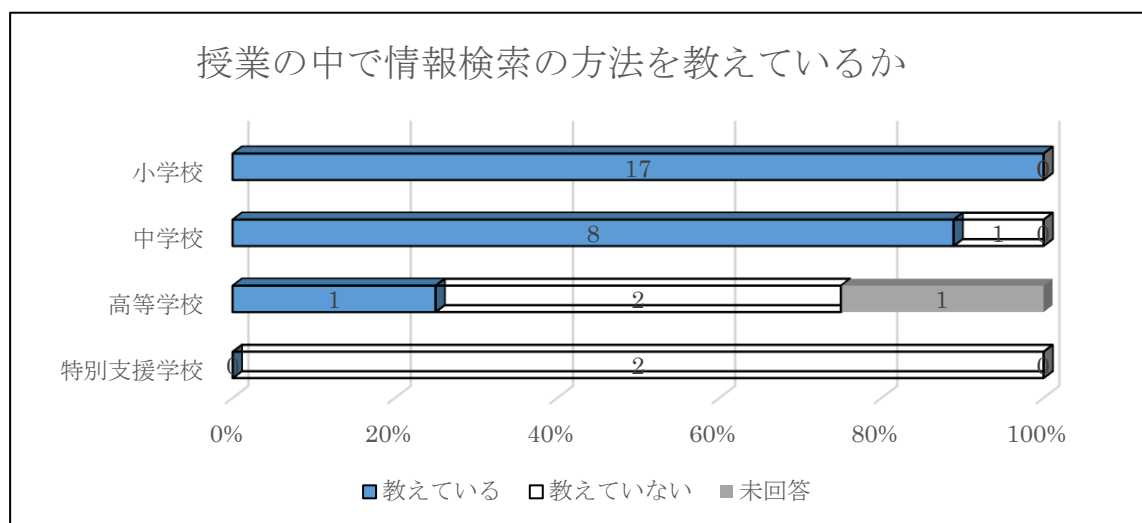
	パソコン 台数	1台当たり の児童生徒 数	タブレット台 数	1台当たりの 児童生徒数
小学校	2	6	2	5
中学校	1	1	1	1
高等学校	1	3	0	3
特別支援学 校	0	2	0	2

※設置数平均 = 設置数 ÷ 設置している学校数(小数点第一位以下四捨五入)

児童生徒数平均 = 回答欄に記入された児童生徒数 ÷ 回答のあった学校数

※児童生徒が実際に使用可能な台数について回答いただいた。

(3) 授業の中で、本やインターネット等、様々なメディアを使った情報検索の仕方を教えていますか。



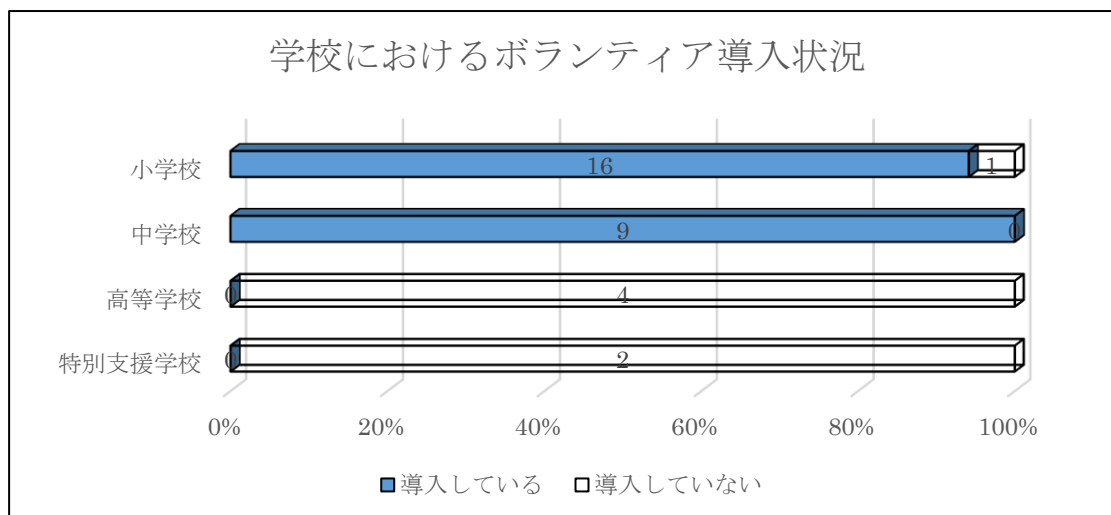
1 学級が授業する際、一人ひとりにいきわたるよう、小・中学校とも所有しており、タブレットとパソコンが一体型のものや、クラスごとにタブレットを 1 台ずつ所有している学校もあった。

高等学校においては、図書館で使えるパソコンを所有している学校が 2 校あった。特別支援学校については所有していなかった。

また、小・中学校ではほぼ全校で情報検索の仕方を授業の中で教えている一方、高等学校や特別支援学校で教えていると回答した学校は、わずか 1 校と少ない状態であった。

質問4 ボランティア（PTAの方を含む）の読書活動への導入状況について

<ボランティアの導入状況>



(1) ボランティアの活動内容について

<活動日数>

施設名	週1日以上	月1日以上	学期に1日以上
小学校	6	7	3
中学校	2	6	1
全体での合計	8	13	4

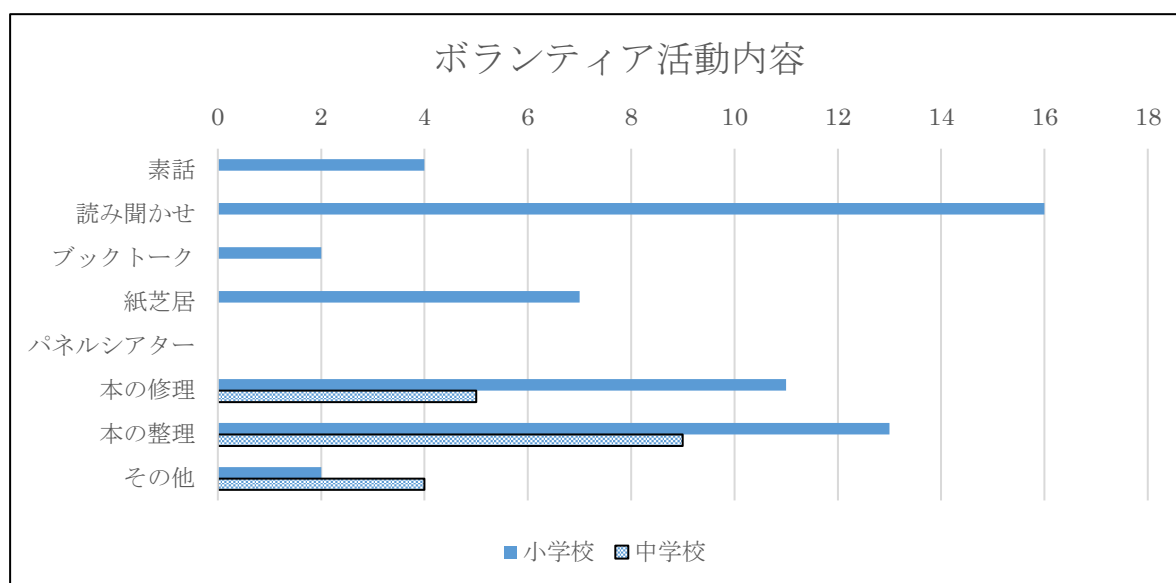
<主な活動時間帯>（複数回答可）

施設名	朝読書	昼休み	放課後	その他
小学校	10	1	3	9※1
中学校	0	2	2	5※2
全体での合計	10	3	5	14

※1 授業中、朝自習の時間、読み聞かせボランティア実施日の午前中、学習時間内、午前中

※2 学校図書館司書出勤日（2校）、午前中、午前中1.5時間、夏休み等

< 具体的な活動内容 > (複数回答可)



【その他内容】

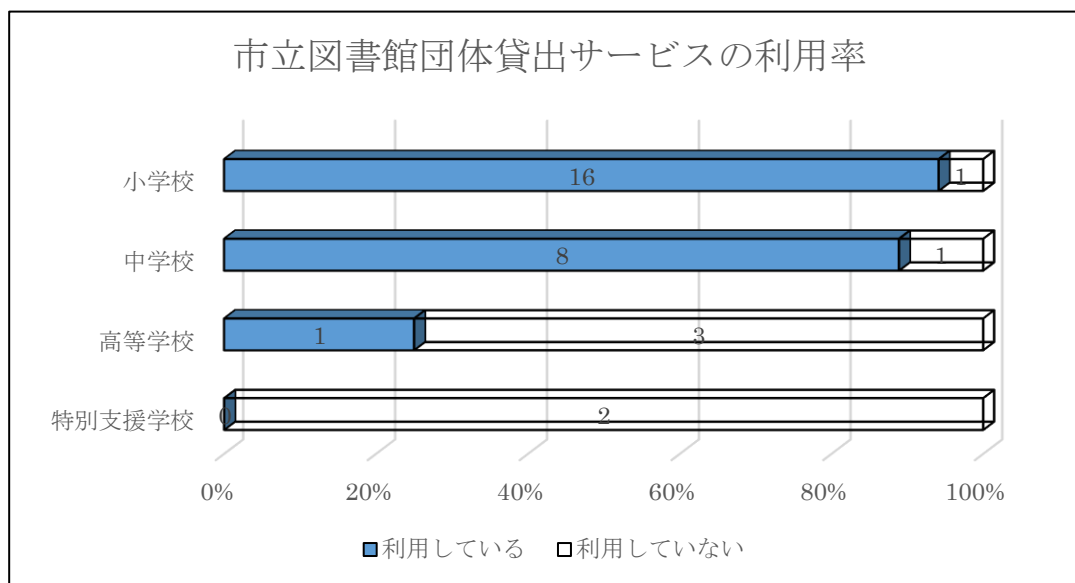
小学校：掲示物作成、環境美化

中学校：ブックカバー掛け、掲示物製作、図書館環境改善、図書館整備

ボランティアの読書活動における導入の割合は、小学校ではほぼ全校的に行われており、中学校でも導入している学校が大幅に増え（3校→9校に増加）、全校で導入を行っている。反対に高等学校、特別支援学校では全く導入されていないことがわかった。

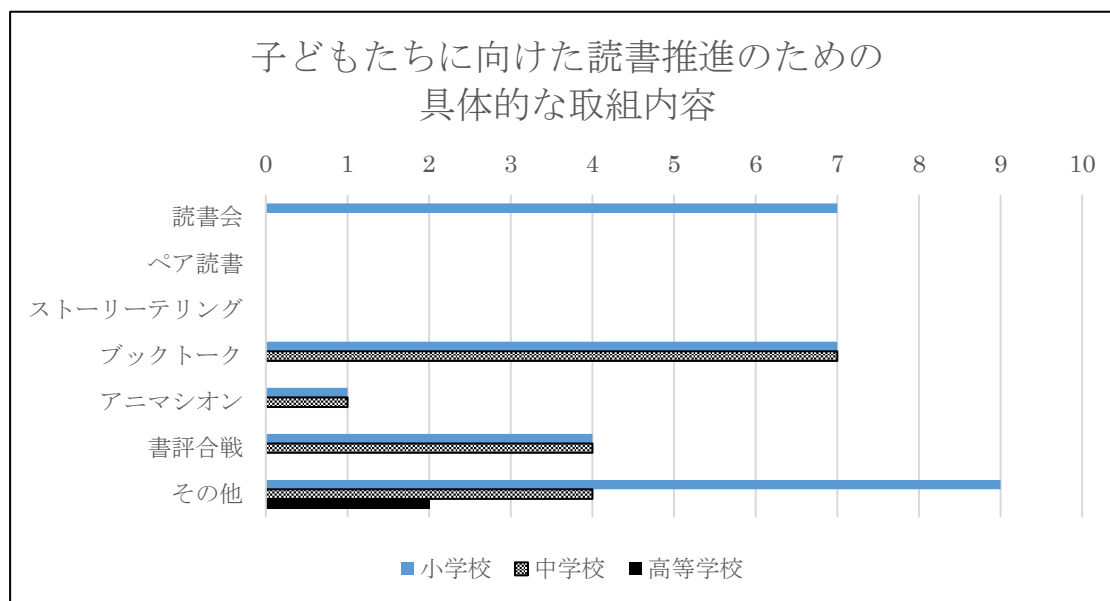
また活動内容については、小学校では主に朝読書等での読み聞かせがほぼ全校的に行われている他、小・中学校共に、本の修理・整理が多かった。学校図書館司書出勤日と活動時間を合わせている学校があることから、学校図書館司書と協力し、図書館の環境整備をしている様子が見えてくる。

質問5 市立図書館団体貸出サービスの利用率



市立図書館の団体貸出サービスについて、平成28年度と比較すると、利用している学校が小学校・中学校共に増加(小学校：14校→16校、中学校：4校→8校)し、ほぼ全校的に利用していることがわかった。高等学校については前回同様1校であり、特別支援学校では利用がなかった。

質問6 子どもたちに向けた読書推進のための具体的な取組について
(複数選択可)



【その他内容】

小学校：委員会の児童が選書した本のクラス貸出、おすすめ図書、読書通帳、読書グランプリ、ポスター、だより発行、読み聞かせ（1年生）、ビンゴカード、スタンプラリー、味見読書、図書委員による読み聞かせ、読書郵便、新刊案内、読書の量を増やし質を高める「ブックリンピック」（本校独自の取組）

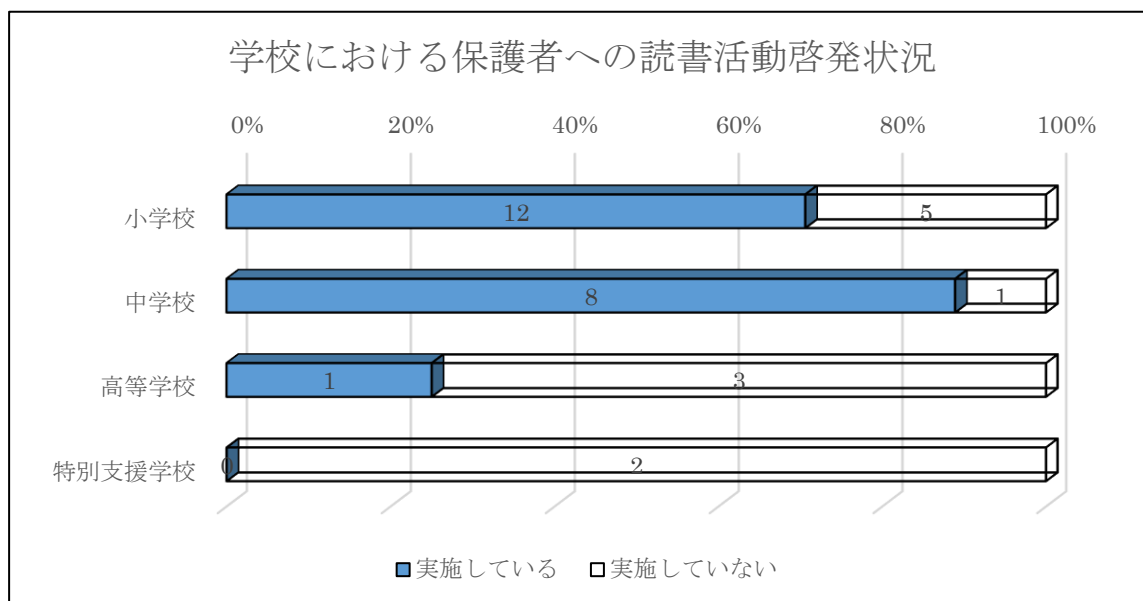
中学校：○学級文庫 各クラス 10冊を毎月入れ替え ○読書マラソン
○味見読書 ○学校図書館だよりの発行、先生方や図書委員のおすすめコーナー、教科や季節に沿った本のコーナー、図書館を使った学習の成果物を掲示・展示するコーナーなどの作成

高等学校：出張図書、おすすめ本紹介等

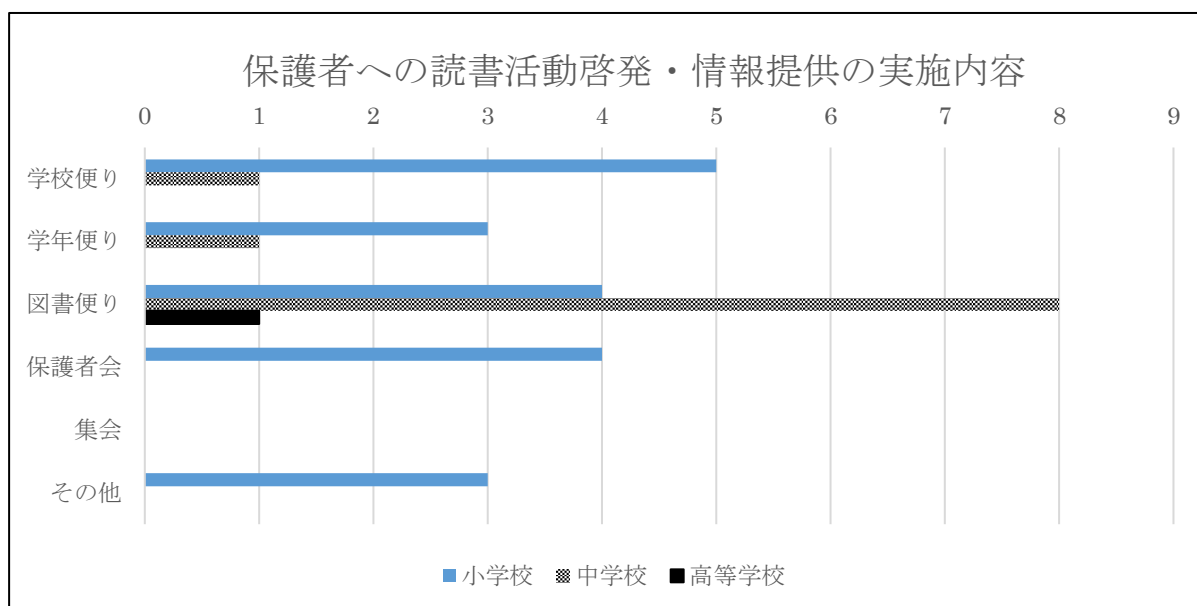
※特別支援学校については未回答

子どもたちに向けた読書推進のための具体的な取組について、読書会・ブックトークとともに、「その他」の取組が多く、各学校で工夫して様々な取組を行っていることがわかった。特に小・中学校において、多くの取組を行っている。

問7 保護者への啓発活動・情報提供について(読書のよさ、家庭読書の勧めなど)



<実施内容> (複数回答可)



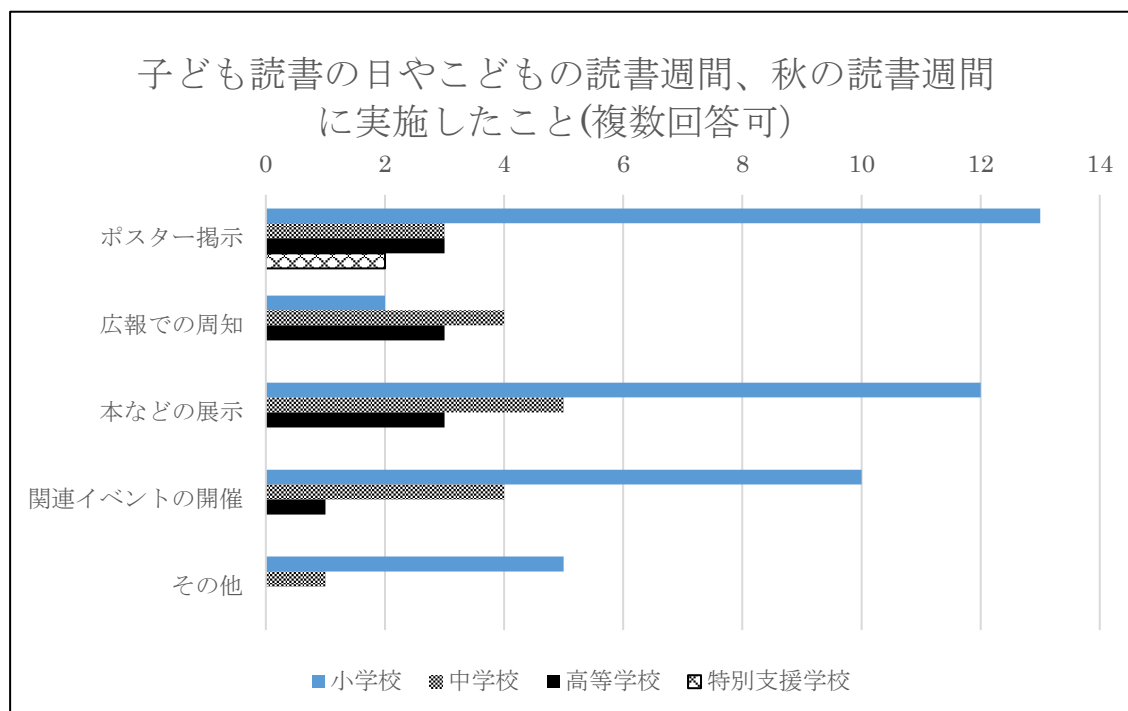
【その他内容】

小学校：夏休みのしおり、地域の児童館・図書館や、出版社の便り、学校評価のアンケートを実施

保護者への読書活動啓発・情報提供の実施状況について、平成28年度と比較すると、小学校では14校から12校に減少しているが、中学校では4校から8校に、高等学校では0校から1校に増加している。実施校の減少については、平成28年度では4校で集会により読書活動啓発・情報提供を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、実施しにくい状況であることも一因と考えられる。

実施内容については、学校だよりや図書便りなどの広報活動を主とした取り組みをしている学校が多かった。特に図書便りに関しては、平成28年度で全体で3校のみ実施だったものが、令和2年度については13校にも増えており、学校図書館からの情報発信が活発になっている様子がうかがえる。

質問8 子ども読書の日やこどもの読書週間、秋の読書週間に行ったものについて



【関連イベント内容】

小学校：○移動図書（本 10 冊ずつを週替わりでクラス貸出する。）、読書グランプリ、クラスランキング作成 ○読書グランプリ ○ハロウィン本・おばけ本特集 ○R1 読書グランプリ 読書ビンゴ ○ビンゴカード、ビデオ放送、読書ランキング ○読書の木（感想の葉、達成の実、ビンゴ）、図書委員による読み聞かせ ○図書委員会によるスタンプラリー ○秋のブックフェスタ ○味見読書（新刊本紹介を兼ねて）

中学校：○読書ビンゴ、読書チャート ○季節の本の紹介、作家の特集 ○本の福袋 ○スタンプラリー（貸出 5 冊で特製しおりプレゼント）

高等学校：○出張図書

【その他内容】

小学校：○読書通帳 ○図書委員による PR 活動（放送等） ○読み聞かせ ○市で取り組んだ R1 グランプリと同時に、読書推進を呼びかけた ○図書委員会児童主催イベント

中学校：未回答

小・中学校、高等学校、特別支援学校全てにおいて、子ども読書の日等に関連する何らかの読書推進活動を行っていることがわかった。ポスター掲示による取組が一番多く(21校)、次いで本などの展示(20校)、関連イベントの開催(15校)が多かった。

イベント内容やその他内容も学校によってさまざまであり、市内小学校全体で行っていた「R1読書グランプリ」の他にも、工夫して独自の取組を行っている印象である。

質問9 その他お気づきの点や、意見・要望

< 要望事項まとめ >

(件)

	小学校	中学校	計
市立図書館との情報交換	1	0	1
読書推進活動の情報共有	1	0	1
図書館資料の誤返却対応について	1	0	1
郷土資料の配布	1	0	1
学校図書館司書の常駐	1	1	2
授業での学校図書館活用	1	1	2
学校図書館運営について	0	1	1
学校図書館司書との情報交換	0	1	1
調べ学習用の資料購入	0	1	1
資料購入費の増額	0	1	1

※高等学校、特別支援学校については、回答なし

☆…要望

【小学校】

< 情報共有について >

☆・調べ学習や並行読書の際、団体貸出できるのがとてもありがたいです。学校図書館の環境を整えていくと共に、市の図書館の活用や環境や取組、工夫について知る機会が増えるとよいと思います。

☆・推進活動を行うと、子どもの読書量もそれだけ多くなることを実感しました。よりよく、より多くの推進活動を知りたいので、情報共有があると嬉しいです。

< 資料について >

☆・おたかの森小中の本が駅のポストに誤返却された場合には、子ども図書館宛てで回送便で送っていただくと助かります。

☆・「流山市」に関する資料が発行されたら（博物館含む）、学校に配布していただけたら嬉しいです。

<学校図書館司書について>

・学校図書館司書がいることで環境も整い、貸出数も増えた。
・学校図書館司書さんから様々な図書館運営について学ばせていただいております。委員会やクラブでも読書の楽しさや面白さが伝わる活動を進んで取り入れられるのも、司書さんのおかげです。ありがとうございます。

☆・学校図書館司書が常に学校の図書室にいてくださると、子どもの読書意欲がさらに高まると思います。よろしく願います。

<学校図書館活用について>

☆・学校の中で、図書館が学習の場である、という共通認識を先生方と持てたら、もっと授業で司書・本が活用されるのではないか、と思います。オリエンテーション、または授業で図書館を年に一度はどの学年も使用してもらえよう努力いたします。

<現状報告・その他>

・本調査で、6年生の貸し出しが少ないことが分かったので、高学年の児童がもっと本を手にする機会を増やすような取り組みをしていくべきだと感じた。

・図書館に流行りのアニメや漫画の本（小説）を取り入れていきたい。
・団体貸出で利用させていただいた児童の学習が深まりました。（1年のりもの、5年国土など）他学年でも活用できるよう、司書と教員が連携していきたいと思います。

【中学校】

<学校図書館司書について>

☆・平成28年に文部科学省が出した「学校図書館ガイドライン」の内容をくんでいただき、学校図書館長は校長であること、司書教諭は学校図書館活用の実質的リーダーで、学校司書は専門的技術的職務であるこ

とを自覚して、児童・生徒・教職員への直接的・間接的・教育的支援を行うよう努めるといった項目の明記があるとよい。学校図書館を単なる本の置き場にしないよう、本を適切に手渡せ、レファレンスができるよう、1校に1人、毎日勤務できる学校司書を設置して頂きたい。

<学校図書館活用について>

☆・学校図書館司書の勤務日数が少ないため、蔵書のデータ化、廃棄申請等の作業が思うように進まないことと、教員とのコミュニケーション不足による授業支援の少なさが課題です。本校では、貸出が昼休みのみとなるため、生徒に図書館に興味を持ってもらうには、授業へ積極的に関わることが必要であると思います。

<蔵書について>

☆・いつも団体貸出でお世話になっておりますが、授業で活用するのに、他校と時期が重なっていたりして思ったように借りられない場合があるのは不便だと感じます。毎年必要になってくる本や、その時期は決まっているので、各学校でなるべく購入していければと思います。また、学校図書館司書は複数校(2校)担当し、各校の出勤日も5,6日と少なく、できることが少ないのが残念に思います。限られた時間に何を優先するべきか、話し合ったり、情報交換できる場があればよいと思います。

☆・クラス文庫を作りたいと思います。本が足りないので、購入費の増額を希望します。

総合考察(学校)

新型コロナウイルス感染症の影響により、全校一斉読書等、前回にくらべ現在は読書活動に制限がかかる状況下ではあるものの、令和元年度のデータでは学校図書館での貸出冊数・貸出人数は飛躍的に増加している。学年が上がるとともに貸出冊数・人数が減少傾向であることは前回同様であるため、特に中・高校生に向けた読書活動の推進を引き続き行っていく必要がある。

「流山市子どもの読書活動推進計画」策定以降、市立小・中学校においては学校図書館司書が全校配置された。そのため、学校図書館を担当する教諭に学校図書館業務の時間が多くとれない現状でも、学校図書館司書が学校図書館の環境を整備し、活用を促したことで、市内児童・生徒の学校図書館での図書の貸出人数・貸出冊数が大幅に増えたことがうかがえる。また学校図書館からの情報発信や地域ボランティアの活用も活発化し、図書館の環境整備や、児童生徒・保護者に対する啓発活動が促進されたと考えられる。

しかし学校図書館司書の勤務時間がわずか週に1～2日程度とかぎられており、今回の調査の自由意見欄からも、学校図書館司書の勤務時間が少ないことや、学校図書館司書の常駐を求める声が上がっている。より児童・生徒の読書環境を良くしていくために、学校図書館司書の勤務体制や勤務時間の見直しが必要と推察される。

また、今回初めて特別支援学校にも調査を行ったが、読書環境・読書推進活動・読書啓発活動すべてにおいて、読書に関する活動がほぼ未実施であり、何らかの支援が必要であると考えられる。